

平成二十一年度 全国学力・学習状況調査

解説資料 中学校 国語

平成二十一年四月

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

はじめに

平成二十一年度全国学力・学習状況調査は、小学校第六学年及び中学校第三学年の原則として全児童生徒を対象に、四月二十一日に実施されました。

調査の目的は、①国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、②各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、③各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることです。

調査の内容は、教科に関する調査（国語と算数・数学）と生活環境や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒対象と学校対象）があり、教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題の二種類からなります。

主として「知識」に関する問題は、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、②実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能などを調査するものです。また、主として「活用」に関する問題は、①知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、②様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を調査するものです。

国立教育政策研究所教育課程研究センターにおいては、調査問題の作成と調査結果の分析を担当しております。この調査を、児童生徒一人一人の学力や学習状況の把握はもとより、今後の指導や学習の改善に生かしていくことが重要であると考えています。このため、問題の作成に当たっては、学習指導要領に示されている内容が正しく理解されるよう留意するとともに、子どもたちに身に付けさせた力として重視されるものについての具体的なメッセージとなるように努めました。

本資料は、調査問題について出題の趣旨や正答・誤答の解説などをまとめたものです。各学校や教育委員会において、日常の学習指

導や教育施策の改善・充実に生かしていただければ幸いです。特に、学校においては、当該学年以外の先生方や当該教科以外の先生方を含めて学校全体で活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たりご協力いただきました皆様、調査に参加していただいた教育委員会、学校の皆様、本資料の作成に当たりご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成二十一年四月

国立教育政策研究所

教育課程研究センター長

中 岡 司

●本書の目的

本書は、平成二十一年度全国学力・学習状況調査の実施後速やかに、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることができるよう、教科に関する調査問題についての解説などをまとめたものである。

●本書の内容・構成

I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

調査問題作成の方針として、調査問題の出題範囲、問題作成の枠組みなどについて解説した。

II 調査問題の解説

問題ごとに、出題の趣旨、正答とその解説などについて記述した。

1 出題の趣旨

問題ごとに把握する力やその意義、場面設定などについて解説した。

2 解説

設問ごとに正答及び誤答について解説した。

3 学習指導に当たって

問題と関連して、今後の学習指導において参考となる事柄を記述した。

4 出典等

著作物からの出題の場合、書名や著者名などを記述した。

III 調査問題等

調査問題、解答用紙及び正答（例）を掲載した。なお、著作権の都合により問題の一部を省略した。

※ 本調査においては、障害のある児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒に対して、点字問題、拡大文字問題、総ルビ付き問題を用意した。

なお、点字問題については、問題が一部異なっており、本書ではその部分を掲載した。

(後ろから見るページ)

1 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめた。

2 解答類型

解答類型とは、各設問についての正答・予想される誤答・無解答などの解答状況を分類し整理したものである。

正答については、設問の趣旨に即して解答として求める条件を定め、その条件をすべて満たしているものを◎で表し、設問の趣旨に即し必要な条件を満たしているものを○で表した。

なお、解答類型には次のように番号を付けた。

類型1～類型8(最大) …… 正答・予想される誤答の類型

(複数の類型が正答となる問題もある。)

類型9 …… 「上記以外の解答」(類型1から類型

8までに含まれない解答。)

類型0 …… 「無解答」(解答の記入のないもの。)

3 質問紙調査項目(教科関連部分)

質問紙調査項目のうち、中学校国語科の教科に関する項目を掲載した。

目 次

(後ろから見るページ)

<p>I 中学校国語科の調査問題作成に当たって 7</p>	<p>II 調査問題の解説</p> <p style="padding-left: 20px;">A 主として「知識」に関する問題 11</p> <p style="padding-left: 40px;">1 鑑賞文を書く 12</p> <p style="padding-left: 40px;">2 スピーチをする 14</p> <p style="padding-left: 40px;">3 文学的な文章を読む 16</p> <p style="padding-left: 40px;">4 連絡の内容をメモする 20</p> <p style="padding-left: 40px;">5 提案する文章を書く 22</p> <p style="padding-left: 40px;">6 目次を読む 24</p> <p style="padding-left: 40px;">7 短歌を読む 26</p> <p style="padding-left: 40px;">8 言語事項等 28</p> <p style="padding-left: 20px;">B 主として「活用」に関する問題 35</p> <p style="padding-left: 40px;">1 情報を読む(図書館の案内図) 36</p> <p style="padding-left: 40px;">2 情報を整理する(発光ダイオード) 40</p> <p style="padding-left: 40px;">3 詩を味わう(「樹」) 44</p>	<p>III 調査問題等 49</p> <p style="padding-left: 20px;">国語A(主として「知識」に関する問題) 51</p> <p style="padding-left: 20px;">国語B(主として「活用」に関する問題) 75</p> <p style="padding-left: 20px;">解答用紙 91</p> <p style="padding-left: 20px;">正答(例) 101</p> <p style="padding-left: 20px;">点字問題(抜粋) 197</p>
<p>1 調査問題一覧表 1</p> <p style="padding-left: 20px;">A 主として「知識」に関する問題 2</p> <p style="padding-left: 20px;">B 主として「活用」に関する問題 4</p>	<p>2 解答類型</p> <p style="padding-left: 20px;">A 主として「知識」に関する問題 5</p> <p style="padding-left: 20px;">B 主として「活用」に関する問題 15</p> <p style="padding-left: 20px;">点字問題部分 21</p>	<p>3 質問紙調査項目(教科関連部分) 25</p>

Ⅰ 中学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題の出題範囲

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」(平成十八年四月)では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにすることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容(主として「活用」に関する問題)

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせる」よう働きかけることになるとしている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

国語科の調査問題においては、例として、以下のような観点を盛り込むことや工夫をすることを挙げている。

- 主として「知識」に関する問題(以下、『知識』の問題)という。

- ・ 描写、要約、紹介、説明、記録、報告、対話、討論などの基礎的な言語活動に関すること
- ・ 表現したり理解したりするための言語事項の基礎的な知識技能に関すること

- ・ 我が国の言語文化に親しむ内容に関すること など

- 主として「活用」に関する問題(以下、『活用』の問題)という。
 - ・ 日常生活や社会生活で必要とされる読書・鑑賞・創作などの言語の活動の活用に関すること
 - ・ 文章を読んで筆者の主張の内容やその表現方法などを評価すること
 - ・ 伝えたい内容をまとめ表現すること
 - ・ 様々なメディアを活用することによって課題を多角的に探究すること など

本調査の調査問題は、以上の点を踏まえながら、中学校学習指導要領(平成十年告示)に示された国語科の目標・内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 問題作成の枠組み

(1) 領域等と評価の観点

調査問題の作成に当たっては、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている三領域一事項(「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」)に基づいて、その全体を視野に入

れることとした。その上で、各領域等に示されている指導事項を踏まえ、幅広く生徒の学力の状況をとらえることとした。実際の問題作成では、学習指導要領に示された指導事項がバランスよく出題されるように配慮した。また、「話すこと・聞くこと」の領域については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難いため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近付けた出題となるようにした。

中学校学習指導要領は、学校や生徒の実態に応じた重点的な指導が行われるように、目標や内容を「第一学年」、「第二学年及び第三学年」の二つのまとまりで示している。そのため、目標や内容の観点からは明確

〈改善の具体的な方向と指導のねらい〉

<p>ア テキストを理解・評価しながら読む力を高めること</p> <p>(ア) 目的に応じて理解し、解釈する能力の育成</p> <p>(イ) 評価しながら読む能力の育成</p> <p>(ロ) 課題に即応した読む能力の育成</p>	<p>イ テキストに基づいて自分の考えを書く力を高めること</p> <p>(ア) テキストを利用して自分の考えを表現する能力の育成</p> <p>(イ) 日常的・実用的な言語活動に生かす能力の育成</p>	<p>ウ 様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実すること</p> <p>(ア) 多様なテキストに対応した読む能力の育成</p> <p>(イ) 自分の感じたことや考えたことを簡潔に表現する能力の育成</p>
--	--	---

に第二学年と第三学年とを区別することができない。調査問題の作成に当たっては、教科書を参考にして中学校における実際の指導などを考慮しながら、中学校第二学年までの内容となるように配慮した。

また、「読解力向上に関する指導資料」PISA調査（読解力）の結果分析と改善の方向（平成十七年十二月 文部科学省）では、読解力の向上に関する指針として「指導のねらい」を示しており（上表参照）、ここに示された七つの視点についても調査問題に盛り込まれるよう配慮した。

さらに、中学校学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。

- 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
 - 学校生活全体を通して、言語に対する関心や理解を深め、言語環境を整え、生徒の言語活動が適正に行われるようにすること。
 - 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。
- 評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を用い、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とした。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、基本的には「生徒質問紙調査」を中心に把握することとした。

(2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、各設問の出題の趣旨が学習指導要領の一つの領域

一つの指導事項に対応することを基本としている。

そのため、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語事項」の三領域一事項のすべてからの出題となるように留意した。

「知識」の問題の例としては、実生活において不可欠な知識・技能、学習を進める共通の基礎・基本となる知識・技能という二つの観点から、次のような言語の能力を挙げることができる。

- ① 目的や場に応じた言葉遣いができること
- ② 文字や表記を正しく用いることができること
- ③ 表現したり理解したりするために必要な語句を身に付けていること
- ④ 文や文章の構成の仕方を理解し、表現に役立てることができること

(3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題作成に当たっては、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」に示された例や学習指導要領に示された言語活動例を参考に、実生活の具体的な場面や生徒が授業等で実際に行っている言語活動を想定したものにすることを基本とした。そのため、「活用」の問題は、一つの領域だけでなく、複数の領域にまたがって出題している場合もある。例えば、読んだ資料について評価したり自分の意見を書いたりするなど、読むことのみにとどまらず、自分の考えなどを記述する問題を出題している。その際には、「テキストを理解・評価しながら読む能力」や「テキストを利用して自分の考えを表現する能力」など、「読解力向上に関する指導資料」に示された七つの視点に沿った出題も含むよう工夫した。これらの問題は、一つに限定される正答を書くのではなく、いくつかの選択肢やいろいろな考え方があつて、

自分の考えを明確にもつて記述するものとなるように配慮した。

「活用」の問題の例としては、「知識・技能を実社会の中で活用する能力」という観点から、次のようなものを挙げることができる。

- ① 現実的、社会的な状況の変化に対応しながら、言葉を介して人間関係を築いたり、社会と積極的に結び付きをもったりすることができること
- ② 調査・研究するために、自分で課題を設定したり課題を追究したりすることができること
- ③ 読んだり聞いたりしたものについて、評価したり応用したりすることができること

(4) 問題形式について

問題形式は、選択式、短答式、記述式の三つとした。

- ① 選択式 … 複数の選択肢の中から番号・記号を選び解答するもの
- ② 短答式 … 語句や短い文、数値等で解答するもの
- ③ 記述式 … 自分で解答を練り、文あるいは文章で解答するもの

(5) 記述式問題について

「活用」の問題に、書かせる字数の限度を一〇〇字程度としながら、記述式の問題を取り入れている。「活用」の問題には、大問の中に一題程度、記述式の問題が含まれるようにした。

記述式の問題は、次の①と②との二つの観点から作成した。

① 解釈したり説明したりする

文章等に表されていることを読み取り、解釈したり、説明したりすることが中心となる記述

子ども図書館の案内図を読んで、本を借りるための場所を選び、その理由を書く問題（国語B ①設問一）、学校図書館案内図に見出しや説明を書き込む問題（国語B ①設問三）がこれに該当する。子ども図書館の案内図に示された説明等に基づいて、各場所の特徴をとらえたり、表現の工夫を自分の表現に役立てたりすることができるとかどうかをみる問題である。

また、発光ダイオードの特徴を箇条書きに整理する問題（国語B ②設問二）もこれに該当する。文章で述べられている発光ダイオードの特徴を的確にとらえた上で、箇条書きにすることを求めている。文章の構成などに注意しながら、読み取ったことを整理して書き表す力が身に付いているかどうかをみる問題である。

② 感想や意見を述べる

文章等を読み、読んだことと関連付けて自分の感じたことや考えたことを分かりやすく述べることが中心となる記述

詩と組み合わせる写真を選び、その写真を選んだ理由を書く問題（国語B ③設問三）がこれに該当する。五枚の写真のうちから一枚を選び、なぜその写真を選択したのかについて、詩と関連付けながら理由を書くことになる。

詩の内容や構成などを踏まえて写真を選び、詩や写真から受け取ったことを関連付けて分かりやすく説明する力が付いているかどうかをみる問題である。

Ⅱ 調査問題の解説

A 主として「知識」に関する問題

1 鑑賞文を書く

1 田中さんは、絵の鑑賞文を書き始めています。田中さんが書き始めた文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「モナ・リザ」
レオナルド・ダ・ヴィンチ作

これは、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「モナ・リザ」という絵です。この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。

— 線部「この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。」は、「この絵の特徴は」と「目が合います」との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えないように、「合います」の部分を適切に書き直しなさい。

1 出題の趣旨

- 文章を書く際に、次のことができかどうかをみる。
- 主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書くこと

この問題は、主語と述語が対応しているかという観点から、自分が書いた文章を推敲（こうしゅう）することができるかどうかをみるものである。ここでは絵の鑑賞文を書くという場面を設定した。

一度書いた文章を、主述の関係は適切かなどといったことについて見直したり書き直したりすることは、文章を書く上で大切な過程の一つであり、文章を推敲する習慣を確実に身に付けさせることが望ましい。

2 解説

設問一

■ 正答について

正答は、「この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合うことです」(○) のように解答しているものである。

この文の内容を変えずに主述の関係を整えるためには、「この絵の特徴は」に対応させて、「合う」に「こと」などの体言を付ける必要がある。

3 学習指導に当たって

生徒自身に推敲をさせると、表記を修正する程度にとどまる場合がある。そこで、推敲の指導では、主述や修飾・被修飾など語句同士の関係、また文や段落の相互の関係などについて、整合性を点検させる必要がある。

また、選材や構成の段階で目的や相手について意識させたり、記述の段階でより分かりやすい表現になるよう工夫させたりするなど、書くことのそれぞれの過程でも随時立ち止まり、見直しながら書くようにさせることも大切である。

なお、推敲の際には、自分で読み直すだけでなく、ペアやグループで読み合うことなども取り入れ、誤りを指摘し合ったり、表現の仕方を学び合ったりして、自分の表現に役立てさせることも効果的である。

4 出典等

絵は、レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」(『ルーヴル 日本語版』平成二年三月 国立美術館連合出版) による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	<p>主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書くことができるかどうかをみる。</p>	<p>B 書くこと（第一学年） エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲》</p> <p>言語事項(1)（第二学年及び第三学年） オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。 《話や文章、文》</p>	<p>書く能力</p> <p>言語についての知識・理解・技能</p>	<p>例 合うことです</p>

※ 「中学校学習指導要領解説（国語編）」における観点を便宜上付記した。（以下同じ）

2 スピーチをする

2 北村さんの字級では、国語の時間に今年度の各自の目標について、スピーチをするようになりました。次は、北村さんのスピーチ原稿です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「北村さんのスピーチ原稿」

黒板に「汗」と書き、字の読み方を尋ねる。

私には、今年の目標が二つあります。二つとも、この「汗」に関係しています。

まず二つめの目標は、卓球部でたくさん汗を流すということです。冬に骨折したこともあり、三月まで汗を流すほどの練習ができませんでした。部活動もこの夏でいよいよ引退です。だから、最後の大会に向けてみんなと一緒にいっぱい汗を流して、悔いの残らない結果を残したいのです。↑

もう一つの目標は、何だと思えますか。↑

みんなを見渡す。

それは、みんなのために汗をかくことです。私は今まで、リーダーになった人に頼ってばかりいたような気がしました。しかしそれではだめだと思ひ、今年はずいぶん頑張りました。最後の一年間を充実させるために、今年こそみんなをリードしていきます。

はっさり力強く言う。

このように、部活動と学級委員の両方で「汗」の二字を今年のテーマにして、努力していくつもりです。

1 「〇」の「黒板に「汗」と書き、字の読み方を尋ねる。」にはどのような効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 聞き手の意見を確かめ、説得力を高める効果。
- 2 聞き手に発言を促し、議論を活発にする効果。
- 3 聞き手の注目を集め、スピーチに引き込む効果。
- 4 聞き手に感想を求め、考えを明確にさせる効果。

2 北村さんのスピーチの特徴を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 日常生活の話題を社会的な出来事と関連させて取り上げている。
- 2 二つの事例を一つの言葉に結び付けて取り上げている。
- 3 複数の具体例を整理し、三つに分類して取り上げている。
- 4 友人の考えを紹介し、自分の考えと比較して取り上げている。

1 出題の趣旨

スピーチをする際に、次のことができるとかどうかをみる。

- ・ 効果的なスピーチをするために話し方の工夫をすること
- ・ 効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫すること

この問題は、聞き手の反応を考えた話し方や、聞き手にとって分かりやすい話の進め方をすることができるとかどうかをみるものである。

ここでは、国語の授業でスピーチを行う場面を設定した。聞き手をスピーチに引き付けるための工夫、自分の考えを聞き手に理解してもらおうための工夫について考えることを求めた。

2 解説

設問1

■ 正答について

正答は、選択肢3である。

北村さんのスピーチでは、まず黒板に「汗」と書くことで、聞き手を黒板の文字に注目させている。次に、読み方を尋ねることによって、聞き手をスピーチに引き込んでいく。

■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 北村さんが聞き手に尋ねたのは「字の読み方」であり、「聞き手の意見」ではないため不適切である。
- (2) 選択肢2 ↓ この場面は北村さんがスピーチをしている場面であり、「議論」の場面ではないため不適切である。
- (3) 選択肢4 ↓ 北村さんが聞き手に尋ねたのは「字の読み方」であり、「感想」ではないため不適切である。

設問二

■正答について

正答は、選択肢2である。
北村さんは、今年度の目標として「卓球部でたくさん汗を流す」ことと、学級委員として「みんなのために汗をかく」ことを挙げ、この二つの事柄を「汗」という一字に結び付けて述べている。

■誤答について

- (1) 選択肢1↓北村さんは、「社会的な出来事と関連させて取り上げて」は「はいないため不適切である。」
- (2) 選択肢3↓北村さんは、「三つに分類して取り上げて」は「はいないため不適切である。」
- (3) 選択肢4↓北村さんは、「友人の考えを紹介し、自分の考えと比較して取り上げて」は「はいないため不適切である。」

3 学習指導に当たって

- (1) スピーチの指導をする際には、聞き手の反応を意識して話すようにさせることが必要である。そのためには、話す内容だけでなく、話すときの工夫も原稿に書き込ませるなどの指導が大切である。なお、原稿に頼らず聞き手の反応をみて話すことについても指導することが重要である。
- (2) スピーチの指導をする際には、聞き手の関心を高めたり理解を助けたりするための具体的な方法とその効果を考えさせる指導が必要である。そのためには、話の材料をどのように収集するのか、収集した材料をどのように組み合わせるのか、それらを用いてどのように話すのかなどを考えさせる指導が大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連		評価の観点	正答
一	効果的なスピーチをするために話し方の工夫をすることができるかどうかをみる。	A 話すこと・聞くこと（第一学年） ア 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえらるるよう話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。 《考えや意図》		話す・聞く能力	3 聞き手の注目を集め、スピーチに引き込む効果。
二	効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫することができるかどうかをみる。				2 二つの事柄を一つの言葉に結び付けて取り上げている。
学習指導要領に示されている言語活動例		(話すこと・聞くこと) (ア) 説明や発表などを行うこと。			

1 出題の趣旨

- 文学的な文章を読んで、次のことができかどうかをみる。
- 本文の展開に即して内容をとらえること
- 本文の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取ること

この問題は、文学的な文章を読む際に、登場人物の言動、場面の展開、主人公の内面を描写している部分などに注意して読み、内容を正確に理解できるかどうかをみるものである。

ここでは、複数の登場人物の言動や心情がそれぞれ効果的に描かれていたり、主人公の内面を描写している部分に、回想や、他人の言動と心情に関する考察が含まれていたりする場面を取り上げた。

2 解説

設問一

■正答について

- 正答は、(A↓)「C↓D↓B」と解答しているものである。
- Aは、本文一行目から三行目にかけての、「『ではみなさんは、(中略)みんなに問いをかけました』の部分に相当する。
 - Cは、本文八行目から九行目にかけての、「『ジョバンニさん。(中略)それを答えることができなかったです』の部分に相当する。
 - Dは、本文十四行目から十五行目にかけての、「『ではカムパネルラさん。』(中略)やはり答えができませんでした」の部分に相当する。
 - Bは、本文十六行目から十八行目にかけての、「先生は(中略)小さな星に見えるのです」の部分に相当する。

設問二

■正答について

- 正答は、選択肢3である。
- 冒頭の「このぼんやりと白いものがほんとうは何か」という先生の質問に対して、ジョバンニは本文五行目で、「みんな星だと、いつか雑誌で読んだ」ことをぼんやりと思い出し、さらに十三行目で、「やっぱり星だ」と思ったことから、答えを知っていたことが分かる。
 - また、――線部は「それはいつかカムパネルラの(中略)雑誌のなかにあったのだ」と続き、ジョバンニが、カムパネルラと一緒に読んだ雑誌の中に「それ」があったこととはつきりと思いつく様子で描かれている。
 - これらのことから、ジョバンニとカムパネルラが「知っている」ことは、「ぼんやりと白いもの」が「星」であることが分かる。

設問三

■正答について

銀河の正体について知っているはずのカムパネルラが、先生の問いに答えなかった理由について、ジョバンニは、「それをカムパネルラが忘れるはずもなかったのに、すぐに返事をしなかったのは、(中略)気の毒がってわざと返事をしなかったのだ」と考えている。このことから、(カムパネルラが先生の質問に答えなかったのは、僕のことを)「気の毒がって」(いるからだ。)と解答しているものを正答とする。

3 学習指導に当たって

- (1) 文学的な文章を読む際には、主人公に関する部分だけに着目させるのではなく、他の登場人物の言動や心情などにも着目させることが大切である。それぞれの登場人物の立場から物語を読み進めることにより、展開や場面の状況を整理することができる。
- (2) 内容を正確に読み取らせるためには、繰り返し登場する語句や指示語、副詞、文末表現などに着目させることが大切である。これらの表現に着目することにより、登場人物の言動や心情、思考の変化などについて丁寧に読み取ることが可能となる。
文学的な文章における「読むこと」の指導を行う際に、第一学年の「言語事項」のウ「事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと」と意図的に関連付けて指導すると、語感を磨くことにもなる。

4 出典等

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(『新』校本宮澤賢治全集 第十一巻 童話Ⅳ) 平成八年一月 筑摩書房) による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	本文の展開に即して内容をとらえることができるかどうかをみる。	C 読むこと（第一学年） イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。《内容把握や要約》	読む能力	(A) ↓ C ↓ D ↓ B
二	本文の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取ることができるかどうかをみる。	C 読むこと（第二学年及び第三学年） ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。《表現の仕方》	読む能力	3 黒板につるした大きな黒い星座の図の「ほんやりと白いもの」が、みんな星であるということ。 気の毒がって
三				

4 連絡の内容をメモする

4 木村さんたちは、修学旅行中です。班長の木村さんは、先生の話や班員に伝えます。次は、「先生の話」のために書いた「木村さんのメモ」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【先生の話】

このあとの班行動について、班員に連絡してほしいことが三つあります。朝食後に、必ず伝えてください。必要なことはメモをとりましょう。

まず、集合場所についてです。雨が降ってきたので、ホテル前の広場からロビーに変更します。二つめは、集合時刻についてです。予定よりも早めて午前八時三十分になります。遅れないように着早く行動してください。三つめは、各班の保健係への連絡です。救急セットを配るので、集合するよう伝えてください。

連絡は以上です。何か質問はありませんか。

【木村さんのメモ】

1	集合場所	ロビー
2		
3	保健係	集合

一 「木村さんのメモ」の□には、先生の話から聞き取った、班員に連絡しなければならない情報が入ります。必要な情報を「先生の話」の中から探して書きなさい。

二 木村さんは、「先生の話」に分からない点があったので、質問することになりました。木村さんはどのような質問をすればよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 保健係は、いつ、どこに集合すればよいのですか。
- 2 集合場所がロビーに変更になったのはなぜですか。
- 3 班行動の集合時刻は、予定どおりでよいのですか。
- 4 このことは、いつ班員に連絡すればよいのですか。

1 出題の趣旨

話を聞いてメモをとる際に、次のことができかどうかをみる。

- ・ 話の内容から必要な情報を的確に聞き取る
- ・ 聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問すること

2 解説

この問題は、話を聞いてメモをとる際に、必要な情報を的確に聞き取る力が身に付いているかどうか、情報が不足している場合に必要に応じて適切に質問することができかどうかをみるものである。

班員へ情報を伝達するために、メモをとりながら連絡を聞く場面を設定し、必要な情報をメモしたり、不足している情報に気付いて質問したりすることを求めた。

伝達のために連絡を聞く際は、情報に不足がないかを判断し、必要に応じて質問するなどして、確実に伝達できるように聞き取ることが大切である。

設問一

■正答について

正答は、「集合時刻 午前八時三十分」のように時刻を明確に示して解答しているものである。

先生の連絡は、次の三点である。

- ① 集合場所をホテル前の広場からロビーに変更すること
- ② 集合時刻を午前八時三十分にする
- ③ 保健係に集合するように連絡すること

木村さんのメモには、①と③についてはすでに書かれているので、□には②を書く必要がある。

設問二

■正答について

正答は、選択肢1である。

【先生の話】の三つめの連絡は、保健係に集合するように伝えることであるが、「集合するように伝えてください」だけでは集合する場所や時刻が分からない。そのため、木村さんは保健係が、いつ、どこに集合すればよいのかについて質問する必要がある。

■誤答について

- (1) 選択肢2 ↓集合場所がロビーに変更になった理由は「雨が降ってきたので」と述べられているため、改めて質問する内容として不適切である。
- (2) 選択肢3 ↓班行動の集合時刻は「予定よりも早めて」と述べられているため、改めて質問する内容として不適切である。
- (3) 選択肢4 ↓班員への連絡は「朝食後」に行うようにと述べられているため、改めて質問する内容として不適切である。

3 学習指導に当たって

- (1) 聞くことの指導においては、実際の生活場面を意識した学習活動を行うことが大切である。例えば、他の生徒に伝達する、校内放送を正確に聞き取るなどの場面を設定し、目的や場面に応じて聞くようにさせる指導が必要である。
- (2) 聞くことの指導においては、必要に応じて質問させることが大切である。相手が言いたいことを確かめる、足りない情報を聞き出すなどのように、質問の意図を明確に意識させることが必要である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	話の内容から必要な情報を的確に聞き取ることができるかどうかをみる。	A 話すこと・聞くこと イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。 (第二学年及び第三学年)	話す・聞く能力	【例】 集合時刻 午前八時三十分
二	聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問することができかどうかをみる。	《構成や論理》		1 保健係は、いつ、どこに集合すればよいのですか。

5 提案する文章を書く

5 体育委員の松田さんたちは、学校で体力づくりについてのアンケートを行い、体力づくりへの取り組みを学校に提案することにしました。次は「アンケートの質問と回答の一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「アンケートの質問と回答の一部」

-3年1組 体力づくりについてのアンケート-

〈質問〉
体力づくりについて、あなたが考えていることを書いてください。

〈回答〉

- 中学生の体力が向上してきたという新聞記事を読んで、私たちは体力があるんだと思いました。…………ア
- 体力づくりには、早寝早起きの規則正しい生活と、バランスの取れた食事が大切だと思います。…………イ
- 小学校では、「なわとび週間」があって楽しかった。中学校でも昼休みを使って、何かやったらいいと思う。…………ウ
- 小学生や中学生が、放課後や休日に安心して運動できる場所を、学校以外にもつくってほしい。…………エ
- 体力づくりを一人でするのは難しい。みんなでやった方が楽しいし長続きすると思う。…………オ

一 松田さんたちは、「昼休みは、学校全体で運動をすること」を提案する文章を書くことにしました。その提案の根拠にすることができると答えて、「アンケートの質問と回答の一部」の中からオまでの中から二つ選びなさい。

二 アンケートの回答には、様々な意見がありました。その中に、次の□のような意見もありました。松田さんたちは、「昼休みに学校全体で運動をすること」を提案する文章の中で、この意見も取り上げて書くかと思っています。松田さんたちがこの意見を取り上げて書くこととした理由として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

今の私たちに比べて大切なのは、体力づくりよりも勉強です。もっと勉強の力を入れるべきです。

- 1 提案内容と同じ立場の意見であり、多くの人が提案内容と同じ考えをもっていることを強調できるところから、提案内容と同じ立場の意見であり、提案の根拠となる具体的な事例として適したものがあるから。
- 2 提案内容とは異なる立場の意見だが、異なる立場の意見だが、異なった考えをもつ人にも提案を理解してもらうことが大切だから。
- 3 提案内容とは異なる立場の意見だが、寄せられたすべての回答に等しく触れなければならないから。
- 4 提案内容とは異なる立場の意見だが、寄せられたすべての回答に等しく触れなければならないから。

1 出題の趣旨

- 提案する文章を書く際に、次のことができるかどうかをみる。
- 自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶこと
- 自分とは異なる立場の意見を取り入れて、説得力のある文章を書くこと

この問題は、自分の意見が相手に的確に伝わるように、適切な材料を根拠とし、自分とは異なる立場の意見も取り入れながら書く力をみるものである。ここでは、アンケートの回答を基に、新しい活動を提案する文章を書くという場面を設定した。提案する文章を書く際には、提案の内容について同じ立場の意見だけでなく、異なる立場の意見も取り入れて、文章の説得力を高めることが大切である。

2 解説

設問一

■正答について

- 正答は、選択肢ウと選択肢オである。
- ・ 体育委員の松田さんたちは、「昼休みに学校全体で運動をすること」を提案しようとしている。そこで、時間帯を「昼休み」、対象者を「学級全体」とする提案の内容に合う回答を取り上げる必要がある。
 - ・ ウは、「中学校でも昼休みを使って、何かやったらいい」と、「昼休み」に何らかの活動することを望んでいる。
 - ・ オは、「みんなでやった方が楽しいし長続きする」と、一人ではなく「みんなで」活動に取り組み利点を挙げている。

■誤答について

- (1) 選択肢ア↓「私たちは体力があるんだな」と感想だけを述べており、提案したいことの根拠にはならない。
 (2) 選択肢イ・エ↓校外での生活に触れたものであり、提案したいことの根拠にはならない。

■誤答について

- (1) 選択肢1・2↓「同じ立場の意見」ではないため不適切である。
 (2) 選択肢4↓「すべての回答に等しく触れ」ることによって提案のポイントが分かりにくくなってしまったため不適切である。

設問二

■正答について

正答は、選択肢3である。
 []で示された意見は「体力づくりよりも勉強です」と、体力づくりの取り組みに否定的であるため、松田さんたちとは異なる立場の意見である。
 提案するときには、自分たちの意見とその根拠だけでなく、異なる立場の意見にも触れて、異なる立場の人が自分の意見も考慮された上での提案であることが分かるようにする必要がある。

3 学習指導に当たって

提案する文章を書く際には、様々な立場からの意見を想定して提案を検討することが大切である。その際、自分たちの意見を補強する根拠だけでなく、異なる立場の意見やその根拠にも十分配慮して、意見を構築させる必要がある。ある考えを提案する際には、その後に議論があることを前提とすることが重要である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
二	自分とは異なる立場の意見を取り入れて、説得力のある文章を書くことができるかどうかをみる。	B書くこと(第二学年及び第三学年) エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。 《記述》	書く能力	ウ 小学校では、「なわとび週間」があつて楽しかった。中学校でも昼休みを使って、何かやったらいいと思う。 オ 体力づくりを一人するのは難しい。みんなでやった方が楽しいし長続きすると思う。
一	自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶことができるかどうかをみる。	B書くこと(第一学年) ウ 自分の考えや気持ちを的確に表すために、適切な材料を選ぶこと。《選材》		3 提案内容とは異なる立場の意見だが、異なった考えをもつ人にも提案を理解してもらおうことが大切だから。

学習指導要領に示されている言語活動例

(書くこと)(ア) 説明や記録などの文章を書くこと。

6 目次を読む

6 本の目次について、あとの問いに答えなさい。

- 一 目次の特徴と目次を使つてできることの例として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 本に出てくる重要な語句が五十音順に並べられているので、必要な情報を簡単に見つけることができる。
- 2 本の構成やおおまかな内容が示されているので、必要な情報どこにあるのか見当を付けることができる。
- 3 筆者が本を書いたきっかけやねらいなどが書かれているので、筆者の伝えたいことを的確につかむことができる。
- 4 筆者、発行年月日などがまとめて記されているので、だれがこの本を書いたのかを知ることができる。

二 次のページに示すのは、「私たちと水」という本の目次です。この本を用いて、「お風呂の水を洗濯に使うなどの身近な水の節約例」について調べたいと思います。調べたいことは、この本の第何章に書かれていると考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 第一章
- 2 第二章
- 3 第三章
- 4 第四章

私たちと水 【目次】

第一章 私たちの水はどこから来るのか	2
第一節 地上から——川を流れてくる水	2
第二節 地下から——わき水や井戸水	15
第三節 空から——雨水	32
第二章 私たちの周りで水はどのように使われているのか	48
第一節 飲み水	48
第二節 作物を育てる水	58
第三節 工業に使う水	69
第三章 私たちの水はどこへ行くのか	81
第一節 処理される水	81
第二節 川や海に戻る水	97
第四章 私たちは水とどう付き合っていくべきか	112
第一節 取りある水資源	112
第二節 自治体や企業での取り組み	132
第三節 個人や家庭での取り組み	150

1 出題の趣旨

- 目次を見て、次のことができればどうかをみる。
- ・ 目次の特徴や役割を理解すること
 - ・ 目次を読んで、必要な情報がどこにあるか見当を付けること

この問題は、本の目次の特徴を理解し、目的に応じて必要な情報を集めるための読み方ができるかどうかをみるものである。本には目次や索引、奥付など、本文以外にも多くの情報が含まれており、必要に応じて活用できるようにすることが大切である。

2 解説

設問一

■ 正答について

正答は、選択肢2である。

目次には、その書籍の章節や項目がページ順に示されている。また、目次の内容から、本文のどこにどのようなことが書かれているかを読み取ることができる。

■ 誤答について

- (1) 選択肢1 ↓ 「重要な語句が五十音順に並べられている」ものとしては、「索引」がある。
- (2) 選択肢3 ↓ 「筆者が本を書いたきっかけやねらいなどが書かれている」ものとしては、「まえがき」、「あとがき」などがある。
- (3) 選択肢4 ↓ 「筆者、発行年月日などがまとめて記されている」ものとしては、「奥付」がある。

設問一

■ 正答について

正答は、選択肢4である。
 「身近な水」について書かれているのは、「第二章 私たちの周りで水はどのように使われているのか」と「第四章 私たちは水とどう付き合っていくべきか」である。
 その中で「身近な水の節約例」が書かれていると考えられるのは、第四章の「第一節 限りある水資源」や「第三節 個人や家庭での取り組み」である。

3 学習指導に当たって

「読むこと」の指導に当たっては、目的に応じた多様な読み方を身に付けることが一層求められている。そのためには、一冊の書籍や雑誌を教材とした指導も重要となってくる。例えば、目次は読みたい箇所を探すだけでなく、本そのものを選ぶための手がかりにもなる。目次以外にも、索引や奥付の機能について考え、それらの機能を必要に応じて活用する学習活動を展開することも大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	目次の特徴や役割を理解することができるかどうかをみる。	C 読むこと（第一学年） カ 様々な種類の文章から必要な情報を集めるための読み方を身に付けること。 《情報の活用》	読む能力	2 本の構成やおおまかな内容が示されているので、必要な情報がどこにあるのか見当を付けることができる。
二	目次を読んで、必要な情報がどこにあるか見当を付けることができるかどうかをみる。			4 第四章
学習指導要領に示されている言語活動例		(読むこと) (ア) 様々な文章を比較して読んだり、調べるために読んだりすること。		

7 短歌を読む

7 次のAからCまでの短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

A	秋暮れて今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り <small>木下利玄</small>
B	水すまし流にわかひさかのぼる流がいきほひも離れなれども <small>斎藤茂吉</small>
C	（花柳佐太郎の短歌） <small>佐藤佐太郎</small>

(注) 1 秋すまし、
2 離れ、
3 水すまし、
4 流にわか、
5 ぼる、
6 流がいきほひも離れなれども、
7 花柳佐太郎の短歌

1 Aの短歌について、言葉のつながりや意味のまじりから切れ目を付けることになりませうか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。「〃」は切れ目を表します。

- 1 秋暮れて／今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 2 秋暮れて今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 3 秋暮れて今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り
- 4 秋暮れて今年もさむし／午後はやく日かげる庭の白菊の光り

2 次の文章は、Bの短歌について書かれたものです。□に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

水すましは、池や小川にいる小さな虫。この短歌は、この小さな虫が懸命に足を動かして、□を水面を少しずつ進んでいく様子を詠んでいる。

- 1 水の流れに流って
- 2 水の流れを避けて
- 3 水の流れを横切って
- 4 水の流れに逆らって

3 Cの短歌について書かれたものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 街灯の光も月の光も輝かない離道で、落ち葉が明るく光っているように見えて不思議に思ったことを詠んでいる。
- 2 街灯の光と月の光との両方に照らし出された離道を歩き、ひときわ輝く落ち葉を見付けて驚いたことを詠んでいる。
- 3 街灯の光が輝かない離道なのに、落ち葉が光っているのを見て月の明るさの心を動かされたことを詠んでいる。
- 4 街灯の光で照らされた落ち葉があまりに明るくて、月が照っていることにも気付かなかったことを詠んでいる。

1 出題の趣旨

- ・ 短歌を読む際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむこと
- ・ 語句の意味を理解すること
- ・ 表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること

この問題は、短歌を読む上での基本的な知識について問うものである。短歌を読み味わうためには、言葉のつながりや意味のまとまりをとらえたり、語句の効果的な使い方や表現上の工夫に着目したりして、作者の気付きや感動をとらえることが求められる。

2 解説

設問一

■ 正答について

正答は、選択肢2である。

文の終止や修飾・被修飾の関係を見ると、二句めと三句めの間に切れ目を付けることができる。

また、二句めまでの「秋暮れて今年もさむし」は、時間として「秋」「今年」のように比較的大きな幅をもっており、表現も感覚的である。三句め以降の「午後はやく日かげる庭の白菊の光り」は、ある時点で焦点が絞られ、表現も具体的である。

このように意味のまとまりからみると、二句めまでと三句め以降の間には違いがある。

設問二

■ 正答について

正答は、選択肢4である。

□に入る言葉を適切に選ぶには、二句めと三句めの「流にむかひさかのぼる」の意味を正確に理解することが必要である。ここでは、「川の流れに逆らって上る」という意味をもつ「さかのぼる」という語句が用いられていることなどから、上

の句では、水すましが「水の流れに逆らって」水面を進んでいる状況を伝えていることが分かる。

設問三

■正答について

正答は、選択肢3である。

Cの短歌は、街灯の光が届かない舗道で、落ち葉が明るく（光るほどに）月が照っているので感動した、と読み取ることができさる。

3 学習指導に当たって

(1) 短歌を読む際には、言葉のつながりや意味のまとまりなどの点から句の切れめについて考えてみることで、作品の基本的な構造をとらえることが可能となる。例えば、Aの短歌であれば、時間のとらえ方の違いという点において二句めと三句めとの間で大きく二つに分けられる。Bの短歌であれば、水すましの状況を客観

4 出典等

五島茂編『木下利玄全歌集』（昭和二十六年八月 岩波書店）、『齋藤茂吉全歌集』（昭和四十三年十二月 筑摩書房）、『佐藤佐太郎集第一巻』（平成十三年十月 岩波書店）による。

(2) 短歌や俳句などを読む際、作者が対面している事実、状況をまづ正確にとらえることが、作者の気付きや感動などについて考えていく上で有効である。また、「秋」、「今年」、「午后」といった時間を表す語句を関係付けて考えたり、詠嘆の表現である「けり」に着目したりするなど、用いられている語句の一つ一つに十分注意を払うことも、短歌や俳句を読む上では大切である。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点	正答
一	短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむことができるかどうかをみる。	C 読むこと（第一学年） イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。《内容把握や要約》	読む能力	2 秋暮れて今年もさむし／午后はやく日かげる庭の白菊の光り
二	語句の意味を理解することができるかどうかをみる。	C 読むこと（第一学年） ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。《語句の意味や用法》		4 水の流れに逆らって
三	表現の仕方に注意して読み、内容について理解することができるかどうかをみる。	C 読むこと（第二学年及び第三学年） ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。《表現の仕方》		3 街灯の光が届かない舗道なのに、落ち葉が光っているのを見て月の明るさに心を動かされたことを詠んでいる。

8 言語事項等

8 次の一から八までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書で正しいものに書きなさい。

- 1 世界インセンを見学する。
- 2 ジヤクを使つて方位を調べる。
- 3 燃料をオオナう。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- 1 空気の振盪がある。
- 2 ビアノで伴奏をする。
- 3 真実に向る。

三 次のアからオまでの文では、最も適切な言葉を、カの文では、——線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれ()の1から4までの中から一つ選びなさい。

- ア 急いでいるときは、靴をはくのも(1) おこがましい (2) いちじらしい (3) もどかしい (4) はなはたしい。
- イ 部分のときに、鬼をおいはらう(1) はからい (2) ならわし (3) とりなし (4) うけあい) は、今でも続いている。
- ウ お客様、どうぞこの洋服を(1) めしあがつて (2) おめしになつて (3) うかがつて (4) うけたまわつて)ください。
- エ 調査結果について、報道(1) 機関 (2) 補遺 (3) 器官 (4) 期想) に対して説明する。
- オ 携帯電話により、コミュニケーションの機会が増えているといふ。たとえ(1) そうであるならば (2) そうであっても (3) そうであるから (4) そうであるので、私は若者が携帯電話を持つことに賛成できない。
- カ 入学式のときの来賓のシユタジ(1) 示 (2) 事 (3) 字 (4) 辞) は、特に印象に残っている。

四 次の①の文を、意味は変えずに「私」を主語にした文に書き換えると、「頼母が」「頼んだ」はそれぞれどのようになりますか。②の文の[A]と[B]に当てはまる言葉を書きなさい。

- ① 頼母が私に庭の草取りを頼んだ。
- ② 私は頼母[A]庭の草取りを[B]。

1 出題の趣旨

言語や言語文化に関する知識・技能を身に付け、文や文章の中で適切に用いることができるかどうかをみる。

この問題は、語句や語彙、言葉のきまり、言語生活、伝統的な言語文化、漢字の読み書き、書写に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかどうかをみるものである。

学習指導要領の「言語事項」(1)から(3)の内容等について幅広く出題した。「言語事項」に関する内容は、話す・聞く活動、書く活動、読む活動に役立てるために必要なものであり、実際の言語活動の中で指導することが求められる。

2 解説

設問一 から 設問三) についての解説は、次ページの表中に示した。

設問四

■ 正答について

正答は、(私は頼母) A「に」(庭の草取りを) B「頼まれた」()のように解答しているものである。

①の文章から、草取りを頼んだのは祖母であり、私は頼まれたということが分かる。

②の文章では意味は変えずに「私は」を主語にすることから、Bには、「頼んだ」を受け身にして「頼まれた」と書くことが適切である。また、Aには、頼まれた相手を表す「に」や「から」などを用いる必要がある。

五 次は、兼好法師が書いた「徒然草」の「冒頭の部分」とその「現代語訳」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、**視にむかひて**、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものくるほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、視に向かかって、心に次々と浮かんで消えていくとりとめのないことば、たななんとなく書き付けていると、不思議と妙な感じがしてくることであるよ。

1 「視にむかひて」を現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

2 「視にむかひて」の意味を「現代語訳」の中から抜き出しなさい。

六 山本さんは、前の書写の時間に、行書で「綿雲」という文字を書きました。今日は、そのときの「先生の助言」を生かして書き直すことができました。山本さんが書き直したものと、最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【前の書写の時間に書いた文字】



【先生の助言】

字形を整えて書くことができましたね。行書の特徴である「点画の連続と省略」に気を付けて、「雲」を書いてみましょう。「綿」と「雲」の文字の中心がずれているので、そろえて書くとも全体が整って見えますよ。



七 林さんは、本を読んでいて次の文の「線部」「善後策を講じる」の意味が分からなかったので、国語辞典で調べました。あとの【国語辞典】に載っている「善後策」と「講じる」を説明している言葉それぞれ使って、「善後策を講じる」の意味を書きなさい。ただし、「講じる」については①と②のどちらか一方の説明を選び、その言葉を使いなさい。

【読んでいた本の一部】

県大会の本部は、洗滞でバスが遅れたため、善後策を講じることにした。

【国語辞典】

せんごさく【善後策】(名) 起きてしまったことを、うまくおさめるための方法「善後策を練る」

こうじる【講じる】(他動・上二段) ①専門的な内容を講義する。「歴史を講じる」

②手段を考えて実行する。「手立てを講じる」

八 次は、ある国語辞典の「薄い」という言葉の説明です。この【国語辞典】の説明から分かることを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【国語辞典】

うすい【薄い】(形) ①両面の間の幅が小さい。「薄い板」②厚い。③(層が)の形で、そのような人が少ない。「選手層が薄い」④厚い。⑤色の感じが弱い。「薄い緑」⑥濃い。⑦深い。⑧味わいが弱い。「塩味が薄い」⑨あつさり。⑩濃い。⑪密度や濃度が小さい。「霧が薄くかかる」「薄いお茶」⑫濃い。⑬影響やかかわりが小さい。「効果が薄い」「なじみが薄い」▼国語で。

- 1 「選手層が薄い」の反対の意味は、「選手層が濃い」である。
- 2 「薄い緑」は、「濃い緑」とはほぼ同じ意味を表す言葉である。
- 3 「塩味が薄い」は、味わいが強く、しつかりしていることである。
- 4 「なじみが薄い」というのは、よく知っているということである。

設問五 1

■ 正答について

正答は、「むかいて」と解答しているものである。

設問五 2

■ 正答について

正答は、「とりとめのないこと」と解答しているものである。

設問六

■ 正答について

正答は、選択肢3である。

【先生の助言】から、

①「点画の連続と省略」に気を付けて「雲」を書くこと

②「綿」と「雲」の文字の中心をそろえて書くこと

の二点が山本さんの今日の課題であることが分かる。

今回の書写の時間では先生の助言を生かして書くことができただから、「雲」の点画を連続・省略させて書いてあり、さらに、「綿」と「雲」の文字の中心がそろっているものを選ぶことになる。

設問七

■ 正答について

正答は、「起きてしまったことをうまくおさめるために、手段を考えて実行すること。」のように解答しているものである。

「善後策」について【国語辞典】には、「起きてしまったことを、うまくおさめるための方法」とある。また、【読んでいた本の一部】の場面において結び付くものとしては、二つの意味のうち②の「手段を考えて実行する」がふさわしい。これら二つの説明を組み合わせて書く必要がある。

設問八

■ 正答について

正答は、選択肢2である。

「薄い緑」の「薄い」は、【国語辞典】の③「色の感じが弱い」という意味であり、類義語(④)として「淡い」が示されている。

■ 誤答について

(1) 選択肢1↓「選手層が薄い」は②の用法であるが、この対義語は「厚い」であり「濃い」ではない。

(2) 選択肢3↓「塩味が薄い」は④「味わいが弱い」ことであり、「味わいが強く、しっかりしていること」ではない。

(3) 選択肢4↓「なじみが薄い」は、⑥「影響やかかわりが小さい」ということから、「よく知っている」ということにはならない。

3 学習指導に当たって

(1) 漢字は、一字一字を正確に読み書きできるだけでなく、語や語句として理解し、文脈に即して使えるようになることが大切である。そのためには、実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くして、習熟を図るようすることが求められる。

(2) 文法に関する事項は知識として理解しているだけではなく、実際の場面で使えるようにすることが必要である。

(3) 古文の指導に当たっては、古文特有のリズムに慣れさせることが必要である。また、文章の特徴に目を向けさせたり、おおよその内容をとらえさせたりすることが必要である。そのためには、古文を音読、朗読、暗唱することや、古文と現代語訳を対応させて、文章の内容を大まかにとらえることなどを指導することが大切である。なお、指導に当たっては「歴史的仮名遣い」など古文の学習に必要な用語を確実に理解させることも重要である。

- (4) 書写の授業では、生徒たちが互いに書いたものを交換し、助言し合うなど交流する場を積極的に取り入れることが有効である。その際には、学習のねらいに即して、例えば、漢字と仮名の調和はとれているか、文字の中心はそろっているかななどの視点を具体的に示すことが大切である。
- (5) 国語辞典には、語の意味だけでなく、表記の仕方や品詞、用例、対義語や類義語など、様々な情報が載せられている。「薄い」のようないくつかの意味をもつ語を取り上げ、用例、対義語や類義語とかかわらせて、それぞれの意味を考えさせることは、言語感覚を豊かにすることにつながる。また、実際の文脈の中で、国語辞典に記載された語釈や用例を参考にして理解していくことは、よりふさわしい表現を選ぶ際にも役立つ。そのためにも、国語辞典の仕組みを理解し、身近な情報源として親しませる指導が必要である。

《参考》^{*}過去の調査における正答率

三					二		一			設問	実施年度(実施学年)	正答率(%)
カ	才	エ	ウ	イ	3	1	3	2	1			
祝辞	そうであつても	機関	おめしになつて	ならわし	迫る	抵抗	補う	磁石	遺産			
昭和三十八年度(第二学年)	平成十五年度(第三学年)	平成十五年度(第三学年)	平成十五年度(第二学年)	平成十三年度(第二学年)	昭和三十七年度(第二学年)	昭和五十七年度(第三学年)	平成十六年度(第一学年)	平成十五年度(第一学年)	平成十六年度(第三学年)	平成十五年度(第二学年)	平成十六年度(第三学年)	七五・五
五三・六	九四・八	八四・八	八八・〇	八四・四	八六・八	七九・六	九六・六	九六・一	六一・六	八三・八		

※過去の調査

- 昭和三十七年度全国中学校学力調査
- 昭和三十八年度全国中学校学力調査
- 教育課程実施状況に関する総合的調査研究(昭和五十七年度)
- 平成十三年度小中学校教育課程実施状況調査
- 平成十五年度小・中学校教育課程実施状況調査
- 平成十六年度特定の課題に関する調査

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

八	七	六	五		四	設問
			2	1		
<p>辞書に書かれている情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。</p>	<p>辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことができるかどうかをみる。</p>	<p>行書の基本的な書き方を理解し、配列・配置に気を付けて書くことができるかどうかをみる。</p>	<p>古文と現代語訳とを対応させて内容をとらえることができるかどうかをみる。</p>	<p>歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。</p>	<p>動作の受け手を主語にした受け身の文に書き換えることができるかどうかをみる。</p>	出題の趣旨
<p>言語事項(1)(第二学年及び第二学年) イ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。 《語句》</p>	<p>言語事項(3)(第一学年) イ 漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。</p>	<p>C 読むこと(第一学年) ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。 《語句の意味や用法》</p>	<p>C 読むこと(第二学年及び第二学年) ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。 《表現の仕方》</p>	<p>言語事項(1)(第二学年及び第二学年) オ 文の中の文の成分の順序や照応、文の組立てなどについて考えること。 《話や文章、文》</p>	<p>学習指導要領との関連</p>	<p>学習指導要領との関連</p>
<p>言語についての知識・理解・技能</p>	<p>言語についての知識・理解・技能</p>	<p>読む能力</p>	<p>読む能力</p>	<p>言語についての知識・理解・技能</p>	<p>評価の観点</p>	<p>評価の観点</p>
<p>2 「薄い緑」は、「淡い緑」とほぼ同じ意味を表す言葉である。</p>	<p>〔例〕 起きてしまったことをうまくおさめるために、手段を考えて実行すること。</p>	<p>3</p> 	<p>とりとめのないこと</p>	<p>むかいて</p>	<p>〔例〕 A に B 頼まれた ※ A・Bともに行っているものを正答とする。</p>	<p>正答</p>

調査問題の解説

B 主として「活用」に関する問題

1 情報を読む (図書館の案内図)

1 図書館委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの「子ども図書館」に出かけました。次の「子ども図書館案内図」を見ながら、あとの問いに答えなさい。



1 次は、先生から紹介された「本の表紙」と、その本についての「山田さんのメモ」です。



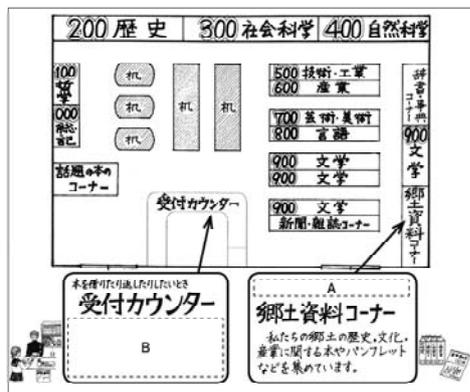
ア この本を借りるには、山田さんはどこへ行くのが適切ですか。その場所の番号を「子ども図書館案内図」の①から⑧までの中から一つ選び、その番号を書きなさい。

イ なぜあなたはアで選んだ場所へ行くのが適切だと考えたのですか。その理由を説明しなさい。

二 山田さんは「子ども図書館案内図」を見て「場所ごとに枠組みで情報が示されていて分かりやすいな」と思いました。場所ごとに枠組みで情報が示されていること以外の工夫として当てはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 それぞれの枠組みの近くにイラストが添えられている。
- 2 利用者の立場で「1」として使う場面が書かれている。
- 3 説明が敬体(です・ます体)で簡潔に書かれている。
- 4 各場所へ行く順序が①、②、③のように示されている。

三 学校に戻った山田さんは、「子ども図書館案内図」の工夫を学校図書館の案内図にもかかそうと考えました。



ア 郷土資料コーナーの「A」には、どのような見出しを書くのが適切ですか。「子ども図書館案内図」の工夫を取り入れて書きなさい。

イ 受付カウンターの「B」には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 次の(受付カウンターの役割)をもとに書くこと。

(受付カウンターの役割)

- ・ 本を借りるための手続きができる。
- ・ 本を返すための手続きができる。
- ・ パソコンで学校図書館の本を探ることができる。

条件2 「貸し出し」「返却」「検索」という言葉をすべて使って書くこと。

1 出題の趣旨

- 案内図を見て、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 書かれている内容をとらえ、資料に基づいて自分の考えを説明すること
 - ・ 表現の仕方や文章の特徴をとらえること
 - ・ 資料に表れている工夫を自分の表現に役立てること

この問題は、案内図から自分に必要な情報を読み取ることと、表現の工夫や特徴に気付いて自分の表現に役立てることができかどうかをみるものである。

この問題では、生徒にとって身近である図書館の案内図から必要な情報を読み取り、それを活用するという場面を設定した。案内図には、施設の見取図だけでなく、イラストなどを用いて具体的な利用場面を説明するなど、随所に利用者の使いやすさを考えた工夫が施されている。

生徒の身の回りには案内図のほかにも、パンフレット、広告、説明書等、多くの資料がある。それらから自分に必要な情報を得るだけでなく、それらの表現の工夫に関心を向けさせ、自分の表現に積極的に役立てさせることも重要である。

2 解説

設問一 ア・イ

■正答について

- 正答は、次の二つのいずれかである。
- アで①を選び、イで「この本がどこにあるのかを検索することができるから。」のように解答しているもの
 - アで④を選び、イで「国内外で出版された本が置いてあり、本の貸し出しもできるから。」のように解答しているもの

- ・ 図書館の案内図における各場所の説明には、その場所に設置されているものや、そこで行うことなどが書かれている。この問題では、それぞれの場所の特徴を区別して適切にとらえ、その部屋を選んだ理由を書くことが必要である。

設問二

■正答について

正答は、選択肢4である。

- 「①、②、③」は場所の番号であり、「各場所へ行く順序」を示したものではない。なお、この問題では「当てはまらないもの」を選ぶことを求めている。

設問三 ア

■正答について

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 見出しとして簡潔に書いている。
 - ② 学校図書館利用者の立場で書いている。
 - ③ 郷土資料コーナーの説明を踏まえて適切な内容を書いている。
- ・ 見出しを書く上で【子ども図書館 案内図】から生かすべき工夫は、案内図の見出しが、いずれも利用者の立場で使う場面を簡潔に示している点である。
 - ・ 見出しを作成する際には、利用者がすぐに館内について把握することができるように、利用者の立場になって利用場면을説明すること、簡潔に分かりやすく説明することなどが大切である。

■誤答について

「■正答について」で示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

設問三 イ

■ 正答について

正答は、次の三つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 《受付カウンターの役割》を踏まえて書いている。
 - ② 「貸し出し」、「返却」、「検索」という言葉をすべて使っている。
 - ③ 説明として筋道が通るように書いている。
- ・ 学校図書館の案内図で、場所の説明をする際には、他の場所と混同しないように、その場所の特徴を分かりやすく書く必要がある。

■ 誤答について

「■ 正答について」で示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 社会生活で利用されている資料から情報を的確に読む

社会生活で利用されている資料を読むには、それぞれの資料の特性に応じた読み方が必要である。パンフレット、説明書などはイラストや図、グラフなども用いて作成されている。これらを文字と結び付けながら、自分に必要な情報を読み取っていくことが大切である。そのためには、多様な資料を教材として授業で用いていく必要がある。なお、これらを教材として取り入れる際には、それぞれの目的や意図などに注意して読ませるようにすることも大切である。

(2) 資料に表れている表現を自分の表現に生かす

この問題で示した【子ども図書館 案内図】は、イラストを入れたり、枠囲みで説明を加えたりするなど、利用者の立場に配慮して作成されている。資料を読む際には、作り手の意図や目的と表現の工夫との関係について考えることが重要である。このよう

に、表現の工夫にも目を向けさせ、学んだことをレポートや発表用の資料作りなど自分の表現活動に生かしていくようにさせることも大切である。

4 出典等

ジェーン・グドール著、赤尾秀子訳『アフリカの森の日々―わたしの愛したチンパンジー』（平成十四年十一月 B L 出版）についてメモを作成した。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

学習指導要領に示されている言語活動例	三		二	一 イ ア	設問
	イ	ア			
(書くこと) (ア) 説明や記録などの文章を書くこと。	資料に表れている工夫を自分の表現に役立てることができるかどうかをみる。		表現の仕方や文章の特徴をとらえることができるかどうかをみる。	書かれている内容をとらえ、資料に基づいて自分の考えを説明することができるかどうかをみる。	出題の趣旨
	C 読むこと(第二学年及び第三学年) 才 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。 《情報の活用》		C 読むこと(第二学年及び第三学年) ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。 《表現の仕方》	B 書くこと(第二学年及び第三学年) イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。 《事柄や意見》 C 読むこと(第一学年) カ 様々な種類の文章から必要な情報を集めるための読み方を身に付けること。 《情報の活用》	学習指導要領との関連
	読む能力 書く能力 国語への関心・意欲・態度		読む能力	読む能力 書く能力	評価の観点
	【例】本の貸し出しと返却の手続きをしています。パソコンで読みたい本の検索もできます。	【例】郷土について知りたいとき	4 各場所へ行く順序が①、②、③のように示してある。	イ 【例】国内外で出版された本が置いてあり、本の貸し出しもできるから。 ※ア、イともにできているものを正答とする。	ア ①もしくは④ (アが「①」の場合) 【例】この本がどこにあるのかを検索することができから。 (アが「④」の場合)

2 情報を整理する（発光ダイオード）

② 堀川さんは、「発光ダイオード」について調べることになりました。次の文章「A」は、堀川さんが読んだ本の一部です。①から⑥は、段落の番号を表します。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

A

① 最近、新しい信号機が増えてきたことに気付いているだろうか。これまでの信号機と違い、新しい信号機には小さな鏡のようなものがたくさん付いている（写真参照）。この小さな鏡は、発光ダイオードというもので、省エネルギーという点などから、近年様々な分野で使われるようになってきた。発光ダイオードは「もうすぐヤマト」などの表、「白熱電球」「蛍光灯」に比べ、次世代の明かりとして注目されている。この発光ダイオードの特徴について詳しく見てみよう。

② まずは、消費電力が少ないということが挙げられる。発光ダイオードと白熱電球を比較して考えてみよう。白熱電球は、フィラメントに電流を流して光を発生させている。一方、発光ダイオードは、半導体に電流を流して光を発生させる。その際、どちらも熱が発生するのだが、白熱電球に比べて発光ダイオードの方が、発生する熱が少なくて済み、白熱電球よりも効率的に、電気エネルギーを光に変えることができるのだ。

③ 次に、小さいということが挙げられる。信号機の写真からも分かるように、発光ダイオードの一つ一つの大きさは、従来の白熱電球に比べてはるかに小さい。この小さいという特徴を生かして、携帯電話の着信ランプや携帯型ゲーム機の光源（バックライト）などに発光ダイオードが多く使われている。



【発光ダイオード式信号機】

④ これまでの電球式信号機では、おおよそ一年に一回電球を交換する必要があった。しかし、発光ダイオード式信号機の場合は、六年から八年に一回で済むと言われている。このように発光ダイオードには、寿命が長いという特徴もある。

⑤ 最後に発光ダイオードには、カラー発光する（特定の色の光を出す）という特徴がある。朝や夕方などに太陽の光が当たって、信号機が三色とも光って見えるという状態を「虹色」などという。これを疑似点灯現象（点灯していないのに点灯しているように見える現象）といい、これまでの電球式信号機に多く見られる現象であった。白熱電球は白色光のため、赤や黄色などの色のついたレンズをかぶせている。さらに反射鏡を利用して、白熱電球の光を一方向に集め、信号機として使用している。この信号機に太陽の光が当たり反射すると、疑似点灯現象が起こる。一方、発光ダイオードは、カラー発光するので、色のついたレンズを使う必要はない。だから、点灯していない色でもついているように見えることは避けられる。このことにより、発光ダイオード式信号機は、交通安全に役立つという効果が期待されている。

【発光ダイオード】



※上の発光ダイオードの全長は約35mm、発光部は約9mm。

⑥ 電車やバスの行き先表示をはじめ、町の中や競技場のディスプレイなどにも広く使われるようになってきた発光ダイオード。克服しなければならぬ課題もあるが、今後ますます私たちの身近な存在になっていくだろう。

〔注〕 フィラメントと電球、白熱電球などの内部は真空にして電流を流し、光や熱エネルギーを放出させて金属の細い棒。

一 文章「A」の「段落」の役割について述べたものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

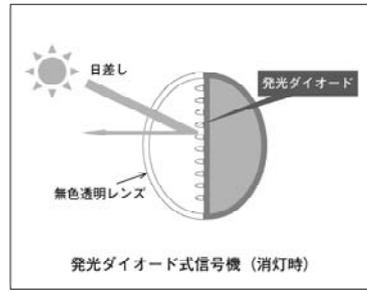
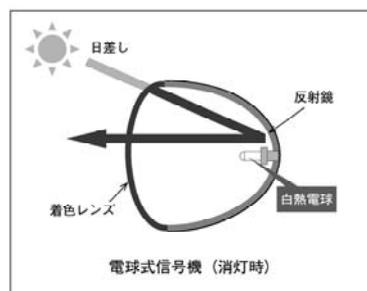
- 1 多くの具体例を挙げて、自分の考えを読み手に示している。
- 2 自分の主張を最初に述べ、解決策を読み手に提案している。
- 3 何について述べようとしているのかを、読み手に提示している。
- 4 複数の人の考え方を紹介して、読み手の興味を引き出している。

二 堀川さんは、発光ダイオードの特徴についてノートにまとめることにしました。文章「A」に書かれている発光ダイオードの特徴を、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 発光ダイオードが次世代の明かりとして注目されていることが分かる特徴を書くこと。
- 条件2 簡潔書きで二つ以上書くこと。

三 堀川さんは、文章「A」で説明されている内容がよく分からないことがありました。さらに調べていく中で、次の図「B」を見付け、理解することができました。文章「A」で堀川さんが分からなかったことは何ですか。「I」を助けるのはどういふことか。」に答えるように、文章「A」の中から抜き出しなさい。

B



1 出題の趣旨

説明的な文章とその補助資料を読んで、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 文章の展開をとらえ、段落の役割を理解すること
- ・ 文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書くこと
- ・ 文章と補助資料とのかかわりを理解すること

この問題は、説明的な文章を表現の工夫に注意して読み、必要な情報を整理することができるかどうかをみるものである。また、図を見て、文章の理解を深めることができるかどうかについてもみている。

ここでは、発光ダイオードについて調べる場面を設定した。文章を読んで情報を整理するとともに、文章だけでは理解できなかった内容について、関連する補助資料を参照して理解を深めている。文章や図などの複数の資料を基に、必要な情報を得ることは、国語科のみならず各教科等でも重要である。

2 解説

設問一

■正答について

正答は、選択肢3である。

文章【A】の1段落は、新しい信号機を例に発光ダイオードについて述べ、「この発光ダイオードの特徴について詳しく見てみよう」と以後の文章で述べようとしている内容を提示している。そして2段落以降で発光ダイオードの特徴について述べている。

■誤答について

- (1) 選択肢1↓「自分の考えを読み手に示して」はいないため不適切である。
- (2) 選択肢2↓「自分の主張」を述べたり「解決策」を提案したりはしていないため不適切である。
- (3) 選択肢4↓「複数の人の考え方を紹介して」はいないため不適切である。

設問二

■正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものである。

- ① 文章【A】に書かれている発光ダイオードが次世代の明かりとして注目されていることが分かる特徴を適切に書いている。

- ② 簡条書きで三つ以上書いている。

文章【A】では、発光ダイオードが「次世代の明かりとして注目されている」理由として、2段落から5段落にかけて一つずつ、合わせて四つの特徴を挙げている。この問題では、これらを文章からとらえ、簡条書きで三つ以上書く必要がある。

■誤答について

- (1) 「■正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

- (2) なお、誤答としては、以下のようなものが考えられる。
 - ・ 特徴を三つ以上書いているが、簡条書きではないもの
 - ・ 特徴が二つ以下しか含まれていないもの など

設問三

■正答について

正答は、「疑似点灯現象」（を防げるとはどういうことか。）のように、文章【A】から疑似点灯現象について述べている部分を「」を防げるとはどういうことか。」に続くように抜き出して解答しているものである。

- ・ 図【B】を見ると、電球式信号機では「消灯時」に当たる「日差し」は、「着色レンズ」を通っていることが分かる。これは文章【A】の⑤段落の、電球式信号機は「色のついたレンズをかぶせ」られて「太陽の光が当たり反射」して「点灯していない色までも点灯して見える」ことを表していると考えられる。一方、発光ダイオード式信号機では、「消灯時」に当たる「日差し」は、「無色透明レンズ」を通っていることが分かる。これは、文章【A】の発光ダイオード式信号機は「色のついたレンズを使う必要がない」ことなどを表していると考えられる。
- ・ 文章【A】の⑤段落には、電球式信号機について、「この信号機に太陽の光が当たり反射すると、疑似点灯現象が起こる」とある。また、発光ダイオード式信号機については、「点灯していない色までもついているように見えることは避けられる」と述べられている。これらの文章と補助資料とを結び付けると、堀川さんが分からなかったこととは、疑似点灯現象のことであると分かる。

3 学習指導に当たって

(1) 段落の役割をとらえて読む

説明的な文章を読む際には、段落の役割に注意して論理の展開をとらえ、書き手の意図を考えることが大切である。例えば、文章の目的を提示する段落、具体例を提示する段落、結論を示す段落などをとらえることが文章の理解に役立つ。

(2) 複数の資料を関連付けて読む

各教科等の学習や日常生活において読む文章の中には、図表などが用いられていることが少なくない。それらを適切に活用するためには、文章と図表とを関連付けて読むことによって、情報をより正確に得ることが大切である。グラフや表などから読み取ったことを、言葉で分かりやすく説明する学習を、国語の授業で行っていくことも必要である。

4 出典等

図【B】は、特定非営利活動法人LED照明推進協議会ホームページを参考に作成した。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

設問	出題の趣旨	学習指導要領との関連		評価の観点	正答
一	<p>文章の展開をとらえ、段落の役割を理解することができかどうかをみる。</p>	<p>C 読むこと（第二学年及び第三学年） イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。 《構成や展開》</p>	<p>読む能力</p>	<p>3 何について述べようとしているのかを、読み手に提示している。</p>	
二	<p>文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書くことができるかどうかをみる。</p>	<p>B 書くこと（第一学年） イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。 《事柄や意見》 C 読むこと（第一学年） イ 文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。 《内容把握や要約》</p>	<p>国語への関心・意欲・態度 書く能力 読む能力</p>	<p>《簡条書き例》 ・消費電力が少ない。 ・小さい。 ・寿命が長い。 ・カラー発光する。</p>	
三	<p>文章と補助資料とのかかわりを理解することができるかどうかをみる。</p>	<p>C 読むこと（第二学年及び第三学年） オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。 《情報の活用》</p>	<p>読む能力</p>	<p>《例》 疑似点灯現象</p>	
<p>学習指導要領に示されている言語活動例</p>		<p>（読むこと）（ア） 様々な文章を比較して読んだり、調べるために読んだりすること。</p>			

③ 詩を味わう「樹」

③ 次は「樹」という詩と、平野さんがこの詩を読んで気付いたことをまとめた「ノート」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

① 「樹」以外によく出てくる言葉：「土」「空」

樹は土に立っている	樹は空へ向いている
土がにじんだのであろうか 空がしみたのであろうか きつ土その根は土になつてゐる そして枝先は空に溶けてゐる	

② 形の上で見られる工夫

・ 連の高さが同じになっている。
・ 対応している感じ。

・ 連の高さが同じで、一連と五連より低くなっている。
・ 三つの連でひとまとまりになっている感じ。

① 「土」と「空」が出てくる行を抜き出しています。AとBに当てはまる一行を、詩の中からそれ抜き出すなさい。

【図】

【写真】

三 平野さんは、次のページの【図】のようにして、詩と写真を組み合わせることにしました。あなたなら、どの写真と組み合わせますか。「写真」のAからEまでの中から一枚を選び、選んだ写真の記号を書きなさい。その写真を選んでもかまいません。その上で、その写真と組み合わせる理由を次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、「本線」で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 その写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真を関連付けて書くこと。

条件2 詩の中の言葉を後で書くこと。

条件3 解答用紙に書かれている後ろの文に続くように、六十文字以上、九十文字以内で書くこと。

参考 詩を二行以上引用したいときには、「樹は土に立っている／樹はそこかまかない」のように「／」をつないだり、「樹は土に立っている。樹はそこかまかない」のように空白を入れてつないだりする方法があります。

二 平野さんは「ア～エ」の②のように、形の上で見られる工夫を図に表しました。ひとまとまりのものとしてとらえた一連・三連・四連の内容の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 樹の一部である「幹」「新芽」「根」「枝先」に着目し、樹が「土」や「空」と一体になっていることを想像を広げて描いている。
- 樹の「根」が「土」に埋もれてしまった様子や、樹の「枝先」が空に隠れてしまった様子について、具体的に述べている。
- 樹の「幹」「新芽」「根」「枝先」について細部まで詳しく観察し、それをもとに、樹の様子についてありのままに描いている。
- 樹の「幹」や「新芽」の様子と、「土」や「空」の様子の違いを明らかにし、「土」や「空」についての疑問を率直に述べている。

※次のページに、下書き用の枠があります。

1 出題の趣旨

- 詩を読んで、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 語句に注意し、その効果的な使い方に気付くこと
 - ・ 詩の表現の仕方に注意して内容をとらえること
 - ・ 詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くこと

この問題は、語句の効果的な使い方や文字の配置をとらえたり、詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえ、写真という性質が異なる作品と関連付けて、自分の考えを書いたりする力をみることがねらいとしている。

ここでは、詩を読んで、繰り返し出てくる語句や文字の配置の工夫をノートにまとめる場面と、詩と組み合わせる写真を一枚選び、その理由を読み手に伝わるように関連付けながら書く場面を設定した。

日常の学習活動では、文字で表現されたものだけでなく、様々な性質の異なるものと比較したり関連付けたりして、それらを活用していくことが重要である。

2 解説

設問一 A・B

■正答について

正答は、「土」の欄であるAには「樹は土のように静かだ」、「空」の欄であるBには「樹は空のように明るい」と解答しているものである。

【ノート】の上段（「土」の欄）を見ると、「樹は土に立っている」、「土がにじんだのであろうか」、「きっとその根は土になつて」といずれも「土」という言葉を含む行を詩から抜き出

して書いている。

同様に、【ノート】の下段（「空」の欄）を見ると、「空」という言葉を含む行を詩から抜き出して書いている。

■誤答について

設問一のAとBとともに「土のように静かだ」、「空のように明るい」のように一部分だけを抜き出しているものは、当該箇所に着目することはできているが抜き出し方が不十分であるため誤答とする。

設問二

■正答について

正答は、選択肢1である。

二連・三連・四連では、樹の一部分である「幹」「新芽」「根」「枝先」について言及している。「幹」は「土がにじんだ」、「根」は「きっと（中略）土になつて」ととらえられている。また、「新芽」は「空がしみた」、「枝先」は「空に溶けてる」ととらえられている。

このように二連・三連・四連では、樹の一部分に着目しながら、樹が「空」や「土」と一体になっていることを想像を広げて描いている。

■誤答について

(1) 選択肢2 ↓ 「根」が土に埋もれてしまった、あるいは「枝先」が雲に隠れてしまったというような、現実的なことを述べているのではないため、不適切である。

(2) 選択肢3 ↓ 樹の様子について、細部まで詳しく観察していたり、ありのままを述べていたりするわけではないので不適切である。

(3) 選択肢4 ↓ 「幹」や「新芽」の様子と「土」や「空」の様子の違いを明らかにしているのではないため不適切である。

設問三

■正答について

- 正答は、次の五つの条件を満たして解答しているものである。
- ① アからオまでの中のいずれか一枚の写真を選んでその記号を書いている。
 - ② 「だから、私はこの写真と組み合わせます。」に続くように、整った文章で書いている。
 - ③ 組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書いている。
 - ④ 詩の中の言葉を使って書いている。
 - ⑤ 六十字以上、九十字以内で書いている。
- ・ 詩と自分が選んだ写真を組み合わせようと思った理由が分かるように書くためには、自分が詩のどこに着目し、どのように感じたのか、自分が選んだ写真のどのような部分が詩と合うと考えたのかといったことに触れて書く必要がある。

■誤答について

「■正答について」に示した五つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 気づきを大切に、それを整理する

詩には様々な工夫が施されている。それぞれが気付いたことを生かしながら、繰り返し出てくる言葉に着目してそれらを手がかりに展開を追ってみたり、文字の配置に着目して内容面とのかかわりを考えてみたりするなど、多角的に詩を検討していくことが大切である。様々な気づきを観点ごとに大別して整理する学習活動は、詩をより深く理解する上でも、考えを整理して自分の感想や意見を人に伝える上でも有効である。

(2) 性質の異なる作品を関連付けて説明する

文学的な文章を読んで、その内容、構成、表現上の特徴などを踏まえた上で、写真・絵画・音楽などの性質の異なる作品と比較したり関連付けたりする学習、またその考えを第三者に伝わるように根拠を挙げながら説明する学習は、作品への理解を深めるとともに、思考力、判断力、表現力を一体的に育成するものである。今後はさらに、音楽や美術の「鑑賞」の指導事項と関連付けることも望まれる。

なおこのような学習を行う際には、新学習指導要領の「書くこと」にも示しているように、「課題設定や取材」「構成」「記述」「推敲」「交流」といった学習過程に配慮することが必要である。

4 出典等

まど・みちお「樹」(伊藤英治編『まど・みちお 全詩集』平成四年九月 理論社)による。

《出題の趣旨・学習指導要領との関連・評価の観点・正答》

学習指導要領に示されている言語活動例	三	二	一		設問
			B	A	出題の趣旨
(書くこと) (イ) 手紙や感想などの文章を書くこと。	<p>詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くことができるかどうかをみる。</p>	<p>詩の表現の仕方に注意して内容をとらえることができるかどうかをみる。</p>	<p>語句に注意し、その効果的な使い方に気付くことができるかどうかをみる。</p>		出題の趣旨
	<p>C 読むこと (第二学年及び第三学年) オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。 《情報の活用》</p>	<p>C 読むこと (第二学年及び第三学年) ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。 《表現の仕方》</p>	<p>C 読むこと (第二学年及び第三学年) ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。 《語句の意味や用法》</p>	<p>学習指導要領との関連</p>	学習指導要領との関連
	<p>読む能力 書く能力</p>	<p>読む能力</p>	<p>読む能力</p>		評価の観点
	<p>例2 ウ 「土のよう」でもあり「空のよう」でもありながら、「樹は樹で生きている」と詩では表現されています。この詩には、木がまさに土と空の間で生きている感じの、ウの写真が合うと思います。 (だから、私はこの写真と組み合わせます。) (八十八字)</p>	<p>例1 ア 私はこの詩の「空がしみたのであろうか」や「枝先は空に溶けてる」といった表現が印象に残りました。アの写真は木の枝先と空が写っていて、この詩に合うと思います。 (だから、私はこの写真と組み合わせます。) (七十八字)</p>	<p>1 樹の一部分である「幹」「新芽」「根」「枝先」に着目し、樹が「空」や「土」と一体になっていることを想像を広げて描いている。</p>	<p>樹は土のように静かだ 樹は空のように明るい</p>	正答

Ⅲ 調査問題等

中学校第3学年

国語 A

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから22ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語A」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、**濃く、はつきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語A」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

1

田中さんは、絵の鑑賞文を書き始めています。田中さんが書き始めた文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「モナ・リザ」

レオナルド・ダ・ヴィンチ作

これは、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「モナ・リザ」という絵です。この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。

――線部「この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合います。」は、「この絵の特徴は」と「目が合います」との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えないように、「合います」の部分適切に書き直しなさい。

問題は、次のページに続きます。

2

北村さんの学級では、国語の時間に今年度の各自の目標について、スピーチをすることになりました。次は、【北村さんのスピーチ原稿】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

（  は、スピーチをするときの工夫を北村さんが書き込んだものです。）

【北村さんのスピーチ原稿】

黒板に「汗」と書き、字の読み方を尋ねる。

私には、今年の目標が二つあります。二つとも、この「汗」に関係しています。

まず一つめの目標は、卓球部でたくさん汗を流すということです。冬に骨折したこともあり、三月まで汗を流すほどの練習ができませんでした。部活動もこの夏でいよいよ引退です。だから、最後の大会に向けてみんなと一緒にいっぱい汗を流して、悔いの残らない結果を残したいのです。

ここで間をとる。

みんなを見渡す。

もう一つの目標は、何だと思えますか。

それは、みんなのために汗をかくことです。私は今まで、リーダーになった人に頼ってばかりいたような気がします。しかしそれではだめだと思い、今年は学級委員になりました。最後の一年間を充実させるために、今年こそみんなをリードしていきます。

はっきり力強く言う。

このように、部活動と学級委員の両方で「汗」の一字を今年のテーマにして、努力していくつもりです。

一 ○ の「黒板に『汗』と書き、字の読み方を尋ねる。」にはどのような効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 聞き手の意見を確かめ、説得力を高める効果。
- 2 聞き手に発言を促し、議論を活発にする効果。
- 3 聞き手の注目を集め、スピーチに引き込む効果。
- 4 聞き手に感想を求め、考えを明確にさせる効果。

二 北村さんのスピーチの特徴を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 日常生活の話題を社会的な出来事と関連させて取り上げている。
- 2 二つの事柄を一つの言葉に結び付けて取り上げている。
- 3 複数の具体例を整理し、三つに分類して取り上げている。
- 4 友人の考えを紹介し、自分の考えと比較して取り上げている。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ではみなさんは、そういうふう^にに川だと言われたり、乳の流れたあとだと言われたりしていたこのぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」先生は、黒板に吊^{つる}した大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけ^(注1)ぶつた銀河帯のようなところを指しながら、みんなに問いをかけました。

カムパネルラが手をあげました。それから四、五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようとして、急いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌で読んだのですが、このごろはジョバンニはまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もないので、なんだかどんなこともよくわからないという気持ちがあるのでした。

ところが先生は早くもそれを見付けたのでした。

「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょうか。」

ジョバンニは勢いよく立ちあがりしましたが、立ってみるともうはつきりとそれを答えることができないのでした。ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすすとわらいました。ジョバンニはもうどぎまぎして真っ赤になってしまいました。先生がまた言いました。

「大きな望遠鏡で銀河をよつく調べると銀河は大体何でしょう。」

やっぱり星だとジョバンニは思いましたがこんどもすぐに答えることができませんでした。

先生はしばらく困ったようすでしたが、眼^めをカムパネルラの方へ向けて、「ではカムパネルラさん。」と名指しました。するとあんなに元気に手をあげたカムパネルラが、やはりもじもじ立ち上がったままやはり答えができませんでした。

先生は意外なようにしばらくじっとカムパネルラを見ていましたが、急いで「では。よし。」と言いながら、自分で星図を指しました。

「このぼんやりと白い銀河を大きないい望遠鏡で見ますと、もうたくさんの小さな星に見えるのです。ジヨバンニさんそうでしょう。」

ジヨバンニは真っ赤になってうなずきました。けれどもいつかジヨバンニの眼のなかには涙がいつぱいになりました。そうだ僕は知っていたのだ、もちろん勿論カムパネルラも知っている、それはいつかカムパネルラのお父さんの博士のうちでカムパネルラといっしょに読んだ雑誌のなかにあったのだ。(注2)それどこでなくカムパネルラは、その雑誌を読むと、すぐお父さんの書斎からおお巨きな本をもってきて、ぎんがというところをひろげ、真っ黒なページいっぱい白い点々のある美しい写真を二人でいつまでも見たのでした。それをカムパネルラが忘れるはずもなかったのに、すぐに返事をしなかったのは、このごろぼくが、朝にも午後ごごにも仕事がつらく、学校に出てももうみんなともはきはき遊ばず、カムパネルラともあんまりものを言わないようになったので、カムパネルラがそれを知って気の毒がってわざと返事をしなかったのだ、そう考えるとたまらないほど、じぶんもカムパネルラもあわれなような気がするのです。

(みやざわけんじ)宮沢賢治「銀河鉄道の夜」による。

(注1) けぶった¹煙った。ぼうつとかすんで見える。

(注2) それどこでなく²それどころではなく。

一 次のAからDまでを、文章の展開に沿って順番に並べ替えるとどのようになりますか。Aに続けてB、C、Dを適切に並べ替えて書きなさい。

- A 先生が黒板につるした星座の図の「ぼんやりと白いもの」を指して何かと尋ねた。
- B 先生が星図を指しながら自分で答えを述べた。
- C 先生がジョバンニを指名したが、ジョバンニは答えられなかった。
- D 先生がカムパネルラを指名したが、カムパネルラは答えられなかった。

二 — 線部「そうだ僕は知っていたのだ、勿論カムパネルラも知っている」とありますが、「僕」と「カムパネルラ」が知っているのはどのようなことですか。次の1から4までのうち、二人が知っていることの説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ジョバンニが真っ赤な顔になってうなずき、今にも泣き出さんばかりになっているということ。
- 2 ザネリがジョバンニを振り返って笑ったり、先生が困った様子になったりしているということ。
- 3 黒板につるした大きな黒い星座の図の「ぼんやりと白いもの」が、みんな星であるということ。
- 4 このごろのジョバンニは、毎日教室でも眠く、本を読むひまも読む本もないということ。

三 カムパネルラは、先生の質問に答えませんでした。その理由についてジヨバンニは、次のように考えました。□ に当てはまる言葉を本文中から六字で探し、抜き出しなさい。

カムパネルラが先生の質問に答えなかったのは、僕のことを

いるからだ。

4

木村さんたちは、修学旅行中です。班長の木村さんは、先生の話や班員に伝えます。次は、【先生の話】とそれを班員に連絡するために書いた【木村さんのメモ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【先生の話】

このあとの班行動について、班員に連絡してほしいことが三つあります。朝食後に、必ず伝えてください。必要なことはメモをとりましょう。

まず、集合場所についてです。雨が降ってきたので、ホテル前の広場からロビーに変更します。二つめは、集合時刻についてです。予定よりも早めて午前八時三十分になります。遅れないように素早く行動してください。三つめは、各班の保健係への連絡です。救急セットを配るので、集合するように伝えてください。

連絡は以上です。何か質問はありませんか。

【木村さんのメモ】

1 集合場所 ロビー

2

[Empty rectangular box for note item 2]

3 保健係集合

一 【木村さんのメモ】の□には、先生の話から聞き取った、班員に連絡しなければならない情報が入ります。必要な情報を【先生の話】の中から探して書きなさい。

二 木村さんは、【先生の話】に分からない点があったので、質問することにしました。木村さんはどのような質問をすればよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 保健係は、いつ、どこに集合すればよいのですか。
- 2 集合場所がロビーに変更になったのはなぜですか。
- 3 班行動の集合時刻は、予定どおりでよいのですか。
- 4 このことは、いつ班員に連絡すればよいのですか。

5

体育委員の松田さんたちは、学級で体力づくりについてのアンケートを行い、体力づくりへの取り組みを学級に提案することにしました。次は、【アンケートの質問と回答の一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【アンケートの質問と回答の一部】

－ 3年1組 体力づくりについてのアンケート－

〈質問〉

体力づくりについて、あなたが考えていることを書いてください。

〈回答〉

- 中学生の体力が向上してきたという新聞記事を読んで、私たちは体力があるんだなと思いました。
・・・・・・・・ア
- 体力づくりには、早寝早起きの規則正しい生活と、バランスの取れた食事が大切だと思います。
・・・・・・・・イ
- 小学校では、「なわとび週間」があって楽しかった。中学校でも昼休みを使って、何かやったらいいと思う。
・・・・・・・・ウ
- 小学生や中学生が、放課後や休日に安心して運動できる場所を、学校以外にもつってほしい。
・・・・・・・・エ
- 体力づくりを一人するのは難しい。みんなでやった方が楽しいし長続きすると思う。
・・・・・・・・オ

一 松田さんたちは、「昼休みに学級全体で運動をすること」を提案する文章を書くことにしました。その提案の根拠にすることができる回答を、【アンケートの質問と回答の一部】のAからオまでの中から二つ選びなさい。

二 アンケートの回答には、様々な意見がありました。その中に、次の□のような意見もありました。松田さんたちは、「昼休みに学級全体で運動をすること」を提案する文章の中で、この意見も取り上げて書こうと思います。松田さんたちがこの意見を取り上げて書こうとした理由として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

今の私たちにとって大切なのは、体力づくりよりも勉強です。もっと勉強に力を入れるべきです。

- 1 提案内容と同じ立場の意見であり、多くの人が提案内容と同じ考えをもっていることを強調できるから。
- 2 提案内容と同じ立場の意見であり、提案の根拠となる具体的な事例として適したものであるから。
- 3 提案内容とは異なる立場の意見だが、異なった考えをもつ人にも提案を理解してもらおうことが大切だから。
- 4 提案内容とは異なる立場の意見だが、寄せられたすべての回答に等しく触れなければならないから。

6

本の目次について、あとの問いに答えなさい。

- 一 目次の特徴と目次を使ってできることの例として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。
 - 1 本に出てくる重要な語句が五十音順に並べられているので、必要な情報を簡単に見付けることができる。
 - 2 本の構成やおおまかな内容が示されているので、必要な情報がどこにあるのか見当を付けることができる。
 - 3 筆者が本を書いたきっかけやねらいなどが書かれているので、筆者の伝えたいことを的確につかむことができる。
 - 4 筆者、発行年月日などがまとめて記されているので、だれがこの本を書いたのかを知ることができる。

二 次のページに示すのは、『私たちと水』という本の目次です。この本を用いて、「お風呂の水を洗濯に使うなどの身近な水の節約例」について調べたいと思います。調べたいことは、この本の第何章に書かれていると考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 第一章
- 2 第二章
- 3 第三章
- 4 第四章

私たちと水 【目次】

第一章 私たちの水はどこから来るのか	2
第一節 地上から——川を流れてくる水	2
第二節 地下から——わき水や井戸水	15
第三節 空から——雨水	32
第二章 私たちの周りで水はどのように使われているのか	48
第一節 飲み水	48
第二節 作物を育てる水	58
第三節 工業に使う水	69
第三章 私たちの水はどこへ行くのか	81
第一節 処理される下水	81
第二節 川や海に戻る水	97
第四章 私たちは水とどう付き合っていくべきか	112
第一節 限りある水資源	112
第二節 自治体や企業での取り組み	132
第三節 個人や家庭での取り組み	150

7

次のAからCまでの短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

<p>A 秋暮れて今年もさむし^{こご}午后はやく日かげる庭の白菊の光り</p>	<p>木下利玄^{きのしたりげん}</p>
<p>B 水すまし流^{ながれ}にむかひさかのぼる^{注しな}汝がいきほひよ^{かす}微かなれども</p>	<p>斎藤茂吉^{さいとうもきち}</p>
<p>C <small>(注2)</small> 舗道^{注1}を平らに舗装した道路。 <small>(佐藤佐太郎の短歌)</small></p>	<p>佐藤佐太郎^{さとうざたろう}</p>

(注1) 汝^{おまえ}。おまえ。

(注2) 舗道^{ほどう}。表面を平らに舗装した道路。

一 Aの短歌について、言葉のつながりや意味のまとまりから切れめを付けるとしたらどこになりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。「/」は切れめを表します。

- 1 秋暮れて／今年もさむし午后はやく日かげる庭の白菊の光り
- 2 秋暮れて今年もさむし／午后はやく日かげる庭の白菊の光り
- 3 秋暮れて今年もさむし午后はやく／日かげる庭の白菊の光り
- 4 秋暮れて今年もさむし午后はやく日かげる庭の／白菊の光り

- 二 次の文章は、Bの短歌について書かれたものです。□に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

水すましは、池や小川にいる小さな虫。この短歌は、この小さな虫が懸命に足を動かし、□水面を少しずつ進んでいく様子を詠よんでいる。

- 1 水の流れに従って
- 2 水の流れを避けて
- 3 水の流れを横切って
- 4 水の流れに逆らって

- 三 Cの短歌について書かれたものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 街灯の光も月の光も届かない舗道で、落ち葉が明るく光っているように見えて不思議に思ったことを詠んでいる。
- 2 街灯の光と月の光との両方に照らし出された舗道を歩き、ひときわ輝く落ち葉を見付けて驚いたことを詠んでいる。
- 3 街灯の光が届かない舗道なのに、落ち葉が光っているのを見て月の明るさに心を動かされたことを詠んでいる。
- 4 街灯の光で照らされた落ち葉があまりに明るくて、月が照っていることにも気付かなかったことを詠んでいる。

8

次の1から8までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

1 世界イサンを見学する。

2 ジシヤクを使って方位を調べる。

3 燃料をオギナう。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

1 空気の抵抗がある。

2 ピアノで伴奏をする。

3 真実に迫る。

三 次のアからオまでの文では、最も適切な言葉を、カの文では、——線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれの1から4までの中から一つ選びなさい。

ア 急いでいるときは、靴をはくのも (1 おこがましい 2 いちじるしい 3 もどかしい 4 はなはだしい)。

イ 節分のときに、鬼をおいはらう (1 はからい 2 ならわし 3 とりなし 4 うけあい) は、今でも続いている。

ウ お客様、どうぞこの洋服を (1 めしあがって 2 おめしになって 3 うかがって 4 うけたまわって) ください。

エ 調査結果について、報道 (1 機関 2 帰還 3 器官 4 期間) に対して説明する。

オ 携帯電話により、コミュニケーションの機会が増えているという。たとえ (1 そうであるならば 2 そうであっても

3 そうであるから 4 そうであるので)、私は若者が携帯電話を持つことに賛成できない。

カ 入学式のときの来賓のシユクジ (1 示 2 事 3 字 4 辞) は、特に印象に残っている。

四 次の①の文を、意味は変えずに「私」を主語にした文に書き換えると、「祖母が」、「頼んだ」はそれぞれどのようなようになりますか。②の文の **A** と **B** に当てはまる言葉を書きなさい。

① 祖母が私に庭の草取りを頼んだ。

② 私は祖母 **A** 庭の草取りを **B**。

五 次は、兼好法師けんこうぼうしが書いた「徒然草つれづれぐさ」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりにむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、硯に向かつて、心に次々と浮かんでは消えていくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付けていると、不思議と妙な感じがしてくることであるよ。

1 —— 線部「むかひて」を現代仮名づかに直し、すべてひらがなで書きなさい。

2 ～～ 線部「よしなしごと」の意味を【現代語訳】の中から抜き出しなさい。

六 山本さんは、前の書写の時間に、行書で「綿雲」という文字を書きました。今日は、そのときの【先生の助言】を生かして書き直すことができました。山本さんが書き直したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【前の書写の時間に書いた文字】



【先生の助言】

字形を整えて書くことができましたね。
行書の特徴である「点画の連続と省略」に気を付けて、「雲」を書いてみましょう。
「綿」と「雲」の文字の中心がずれているので、そろえて書くとき全体が整って見えますよ。

1



3



2



4



七 林さんは、本を読んでいて次の文の——線部「善後策を講じる」の意味が分からなかったので、国語辞典で調べました。あとの【国語辞典】に載っている「善後策」と「講じる」を説明している言葉をそれぞれ使って、「善後策を講じる」の意味を書きなさい。ただし、「講じる」については①と②のどちらか一方の説明を選び、その言葉を使いなさい。

【読んでいた本の一部】

県大会の本部は、渋滞でバスが遅れたため、善後策を講じることにした。

【国語辞典】

ぜんごーさく【善後策】〈名〉 起きてしまったことを、うまくおさめるための方法。「善後策を練る」

こう・じる【講じる】〈他動・上一段〉 ①専門的な内容を講義する。「歴史を講じる」

②手段を考えて実行する。「手立てを講じる」

八 次は、ある国語辞典の「薄い」という言葉の説明です。この【国語辞典】の説明から分かることを、あとの1から4までのなかから一つ選びなさい。

【国語辞典】

うす・い【薄い】「形」①両面の間の幅が小さい。「薄い板」②厚い。②（「層が」の形で）そのような人が少ない。「選手層が薄い」③厚い。③色の感じが弱い。「薄い緑」④淡い。④濃い。深い。④味わいが弱い。「塩味が薄い」⑤あつさり。⑤濃い。⑤密度や濃度が小さい。「霧が薄くかかる」「薄いお茶」⑥濃い。⑥影響やかかわりが小さい。「効果が薄い」「なじみが薄い」▼⑦薄さ。

- 1 「選手層が薄い」の反対の意味は、「選手層が濃い」である。
- 2 「薄い緑」は、「淡い緑」とほぼ同じ意味を表す言葉である。
- 3 「塩味が薄い」は、味わいが強く、しっかりしていることである。
- 4 「なじみが薄い」というのは、よく知っているということである。

平成 21 年度 全国学力・学習状況調査
平成 21 年 4 月 文部科学省

中学校第3学年

国語 B

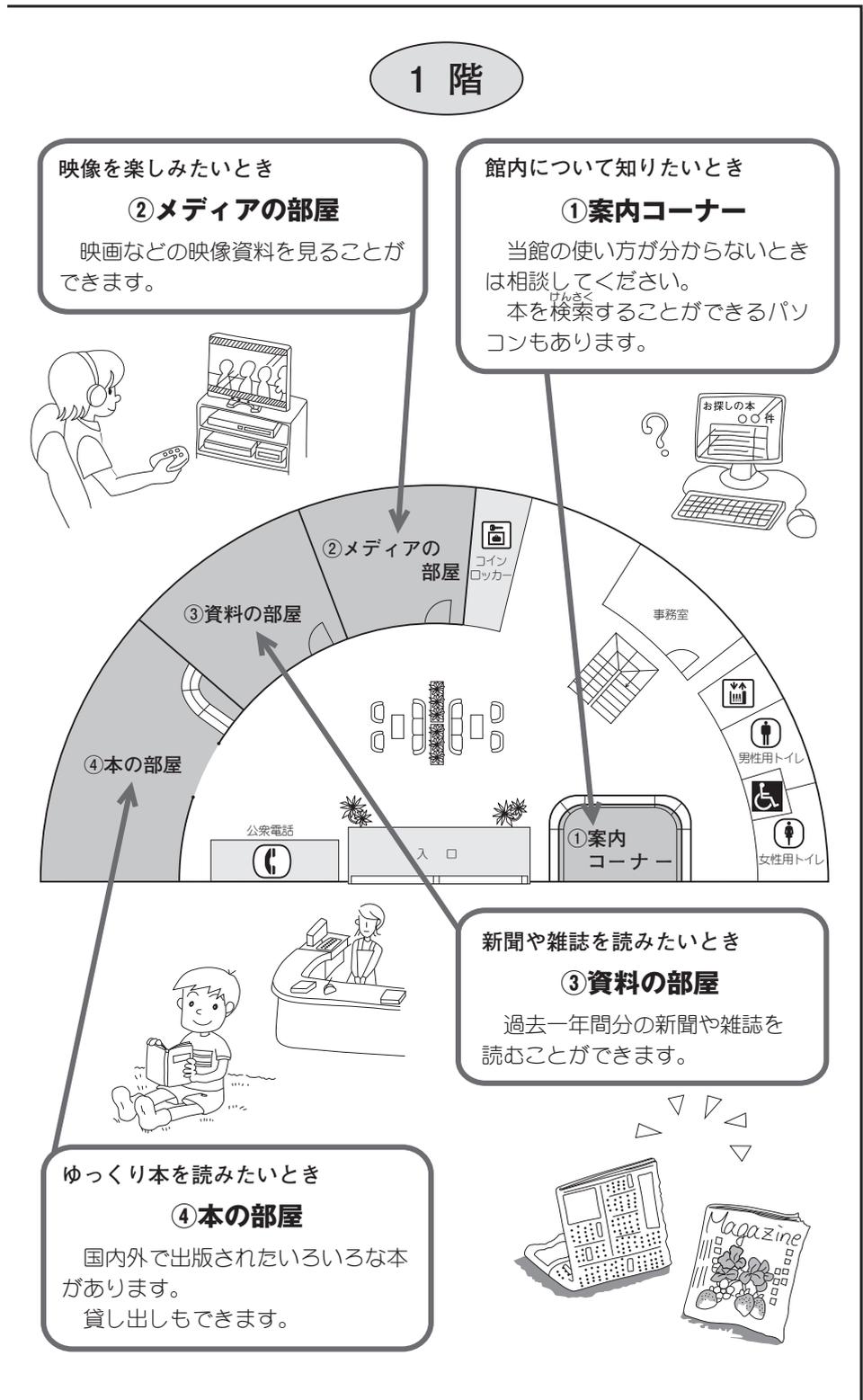
注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから13ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語B」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語B」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

1

【案内図】を見ながら、あとの問いに答えなさい。
図書委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの「子ども図書館」に出かけました。次の「子ども図書館」

【子ども図書館 案内図】



2階

体験しながら本に親しみたいとき

⑥体験の部屋

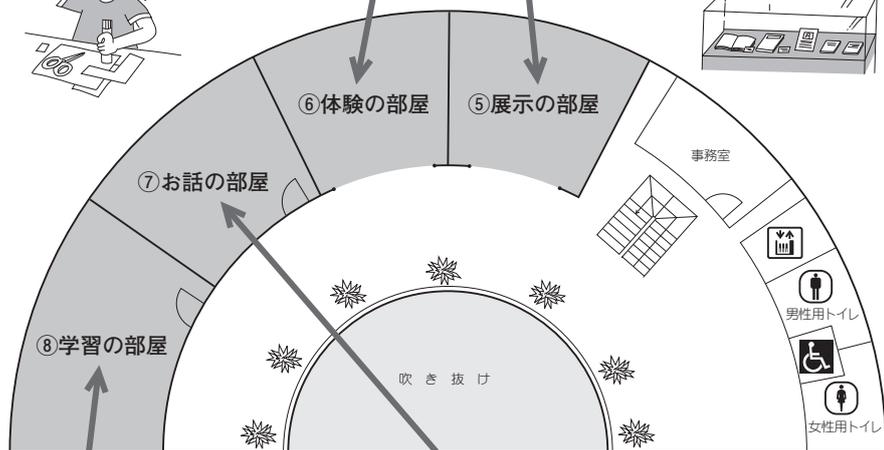
本のしおりを作ったり、簡単な本立てを作ったりする体験ができます。



めずらしい絵本に出会いたいとき

⑤展示の部屋

世界各国の貴重な絵本が展示されています。
貸し出しはできません。



読み聞かせを聞きたいとき

⑦お話の部屋

小学生以下の子どもを対象にした読み聞かせと、中学生を対象にした読み聞かせを週末に行っています。

勉強したいとき

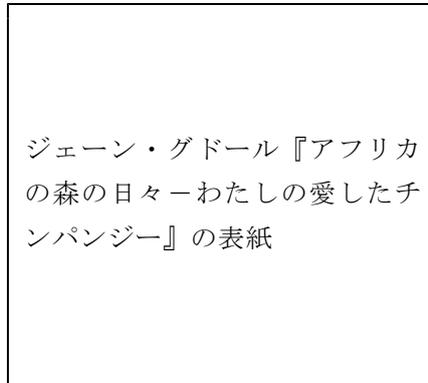
⑧学習の部屋

勉強用の机が並んでいます。
机を使いたいときには手続きを
してください。

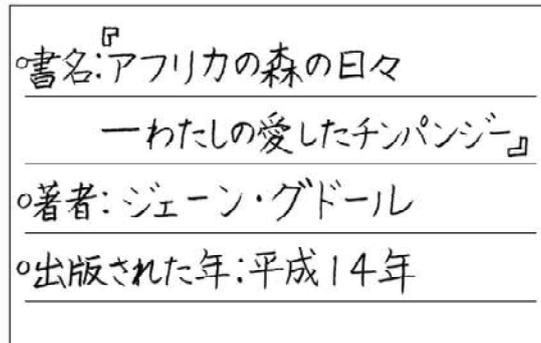


一 次は、先生から紹介された【本の表紙】と、その本についての【山田さんのメモ】です。

【本の表紙】



【山田さんのメモ】



ア この本を借りるには、山田さんはどこへ行くのが適切ですか。その場所の番号を【子ども図書館 案内図】の①から⑧までの中から一つ選び、その番号を書きなさい。

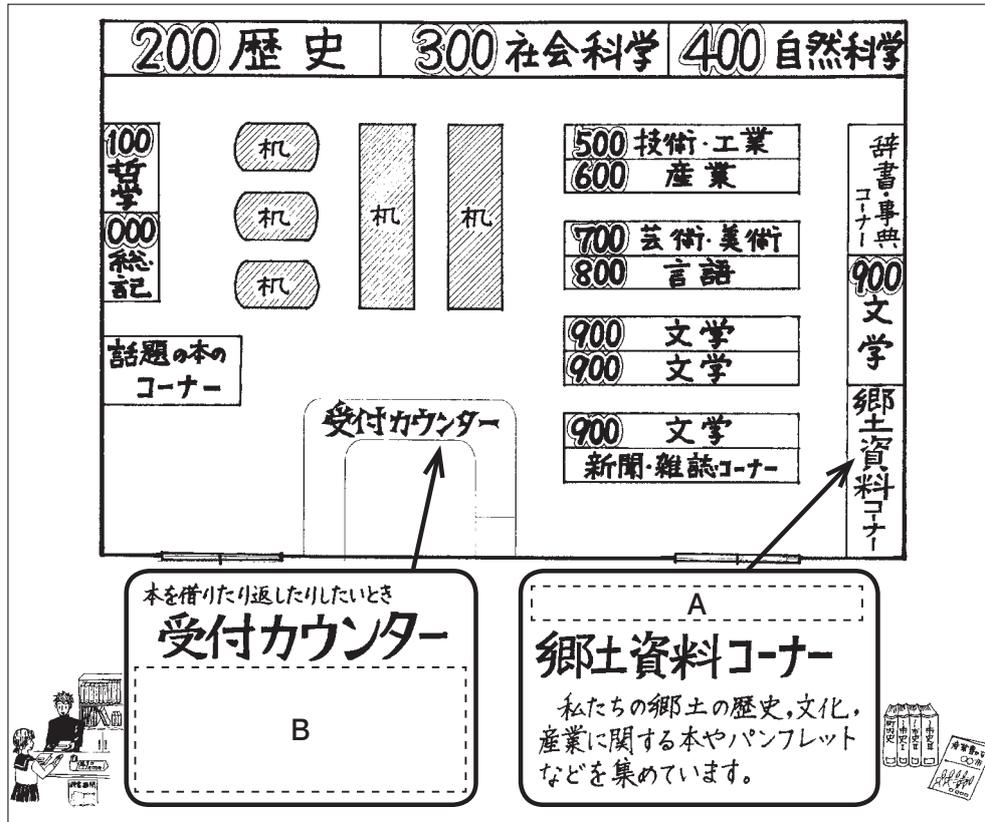
イ なぜあなたはアで選んだ場所へ行くのが適切だと考えたのですか。その理由を説明しなさい。

二 山田さんは【子ども図書館 案内図】を見て、「場所ごとに枠囲みで情報が示されていること以外に工夫として当てはまらないものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。」

- 1 それぞれの枠囲みの近くにイラストが添えてある。
- 2 利用者の立場で「くとき」と使う場面が書いてある。
- 3 説明が敬体（です・ます体）で簡潔に書いてある。
- 4 各場所へ行く順序が①、②、③のように示してある。

三 学校に戻った山田さんは、「子ども図書館 案内図」の工夫を学校図書館の案内図にも生かそうと考えました。

【学校図書館 案内図】



ア 郷土資料コーナーの「A」には、どのような見出しを書くのが適切ですか。【子ども図書館 案内図】の工夫を取り入れて書きなさい。

イ 受付カウンターの「B」には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 次の《受付カウンターの役割》をもとに書くこと。

《受付カウンターの役割》

- ・ 本を借りるための手続きができる。
- ・ 本を返すための手続きができる。
- ・ パソコンで学校図書館の本を探ることができる。

条件2 「貸し出し」、「返却」、「検索」という言葉をすべて使うこと。

2 堀川さんは、「発光ダイオード」について調べることにしました。次の文章【A】は、堀川さんが読んだ本の一部です(1から6は、段落の番号を表します)。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

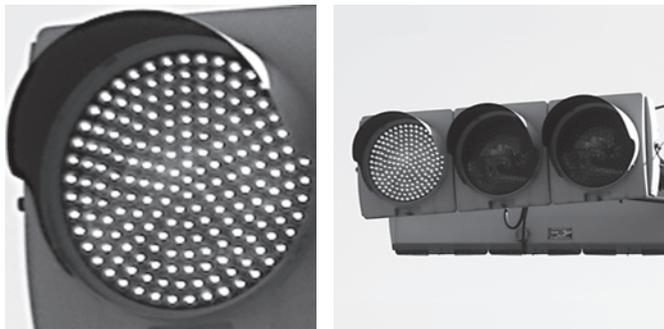
【A】

1 最近、新しい信号機が増えてきたことに気付いているだろうか。これまでの信号機と違い、新しい信号機には小さな粒のようなものがたくさん付いている(写真参照)。この小さな粒は、発光ダイオードというもので、省エネルギーという点などから、近年様々な分野で使われるようになってきた。発光ダイオードは「ろうそくやランプなどの炎」、「白熱電球」、「蛍光灯」に続く、次世代の明かりとして注目されている。この発光ダイオードの特徴について詳しく見てみよう。

2 まずは、消費電力が少ないということが挙げられる。発光ダイオードと白熱電球を比較して考えてみよう。白熱電球は、フィラメント(注)に電流を流して光を発生させている。一方、発光ダイオードは、半導体に電流を流して光を発生させる。その際、どちらも熱が発生するのだが、白熱電球に比べて発光ダイオードの方が、発生する熱が少なく、省エネだ。白熱電球よりも効率的に、電気エネルギーを光に変えることができるのだ。

3 次に、小さいということが挙げられる。信号機の写真からも分かるように、発光ダイオードの一つ一つの大きさは、従来の白熱電球に比べてはるかに小さい。この小さいという特徴を生かして、携帯電話の着信ランプや携帯型ゲーム機の光源(バックライト)などに発光ダイオードが多く使われている。

【発光ダイオード式信号機】



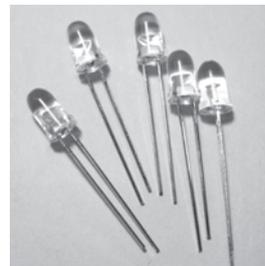
4 これまでの電球式信号機では、およそ一年に一回電球を交換する必要があった。しかし、発光ダイオード式信号機の場合は、六年から八年に一回で済むと言われている。このように発光ダイオードには、寿命が長いという特徴もある。

5 最後に発光ダイオードには、カラー発光する（特定の色の光を出す）という特徴がある。朝や夕方などに太陽の光が当たって、信号機が三色とも光って見えるという経験をしたことはないだろうか。これを疑似点灯現象（点灯していないのに点灯しているように見える現象）といい、これまでの電球式信号機に多く見られる現象であった。白熱電球は白色光のため、赤や黄色などの色のついたレンズをかぶせている。さらに反射鏡を利用することで、白熱電球の光を一方向に集め、信号機として使用している。この信号機に太陽の光が当たり反射すると、疑似点灯現象が起こる。一方、発光ダイオードは、カラー発光するので、色のついたレンズを使う必要はない。だから、点灯していない色までもついているように見えることは避けられる。このことにより、発光ダイオード式信号機は、交通安全に役立つという効果が期待されている。

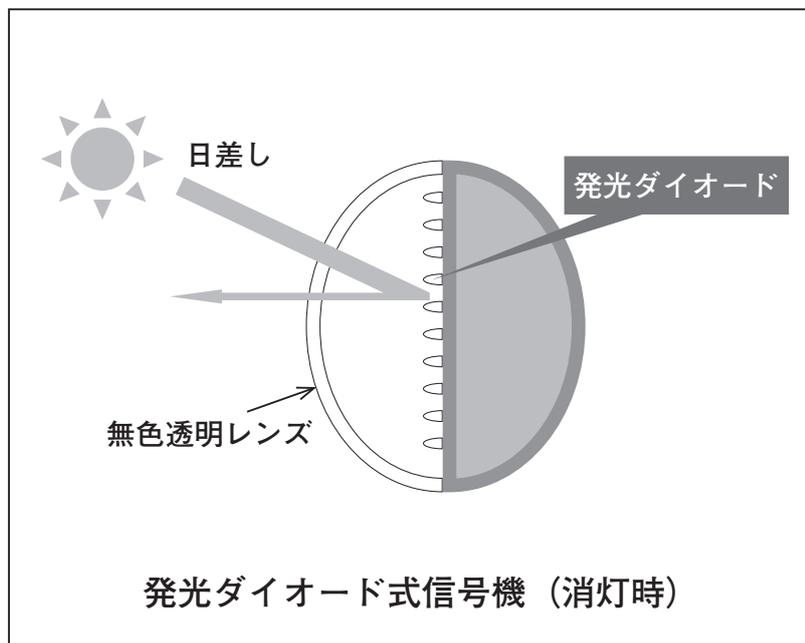
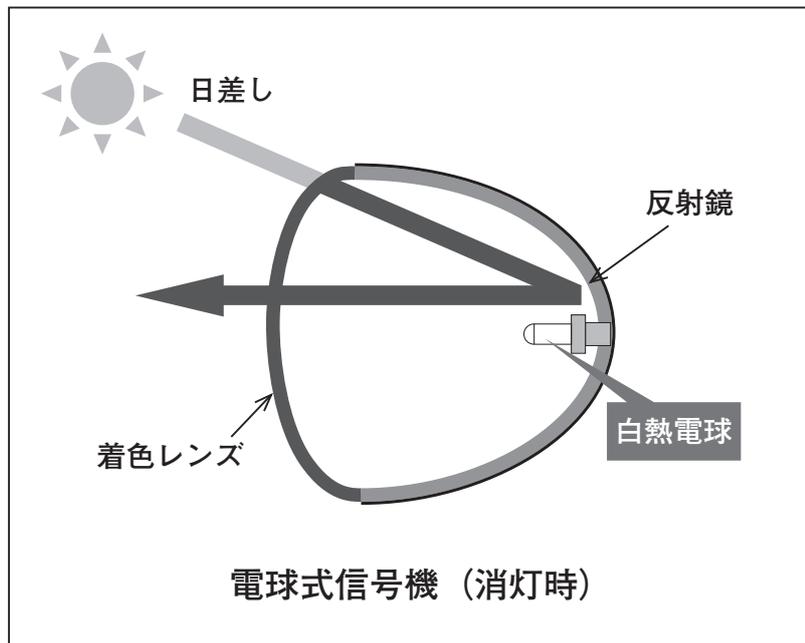
6 電車やバスの行き先表示板をはじめ、町の中や競技場のディスプレイなどにも広く使われるようになってきた発光ダイオード。克服しなければならぬ課題もあるが、今後ますます私たちの身近な存在になっていくだろう。

（注） フィラメント＝電球・真空管などの内部にあって電流を流し、光や熱電子を放出させる金属の細い線。

【発光ダイオード】



*上の発光ダイオードの全長は約 35 mm、発光部は約 9 mm。



3 次は、「樹」という詩と、平野さんがこの詩を読んで気付いたことをまとめたノートです。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【ノート】

① 「樹」以外によく出てくる言葉：「土」、「空」

A	きつとその根は土になってる	土がにじんだのであろうか	樹は土に立っている	「土」
B	そして枝先は空に溶けてる	空がしみたのであろうか	樹は空へ向いている	「空」

(まじ・みちお「樹」による。)

二連

一連

(まど・みちお「樹」による。)

五連

四連

三連

② 形の上で見られる工夫

- ・ 連の高さが同じになっている。
- ・ 対応している感じ。

五連

四連

三連

二連

一連

- ・ 連の高さが同じで、一連と五連より低くなっている。
- ・ 三つの連でひとまとまりになっている感じ。

一 平野さんは、「樹」という言葉のほかに「土」と「空」という言葉が繰り返し出てくることに気づき、「フート」の①のように、「土」と「空」が出てくる行を抜き出しています。

A

と

B

に当てはまる一行を、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。

二 平野さんは、【ノート】の②のように、形の上で見られる工夫を図に表しました。ひとまとまりのものとしてとらえた二連・三連・四連の内容の説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 樹の一部分である「幹」「新芽」「根」「枝先」に着目し、樹が「空」や「土」と一体になっていることを想像を広げて描いている。
- 2 樹の「根」が「土」に埋もれてしまった様子や、樹の「枝先」が雲に隠れてしまった様子について、具体的に述べている。
- 3 樹の「幹」「新芽」「根」「枝先」について細部まで詳しく観察し、それをもとに、樹の様子についてありのままに描いている。
- 4 樹の「幹」や「新芽」の様子と、「土」や「空」の様子の違いを明らかにし、「土」や「空」についての疑問を率直に述べている。

三 平野さんは、次のページの【図】のようにして、詩と写真を組み合わせることにしました。あなたなら、どの写真と組み合わせますか。【写真】のAからCまでのの中から一枚を選び、選んだ写真の記号を書きなさい（どの写真を選んでもかまいません）。その上で、その写真と組み合わせる理由を次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 その写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書くこと。

条件2 詩の中の言葉を使って書くこと。

条件3 解答用紙に書かれている後ろの文に続くように、六十字以上、九十字以内で書くこと。

参考 詩を二行以上引用したときには、「樹は土に立っている／樹はそこから歩かない」のように「／」でつないだり、

「樹は土に立っている 樹はそこから歩かない」のように空白を入れてつないだりする方法があります。



ウ



エ



オ

【図】



【写真】



ア



イ

※次のページに、下書き用の枠があります。

平成 21 年度 全国学力・学習状況調査
平成 21 年 4 月 文部科学省

解答用紙

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 A

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

国語 A オモテ

学校名

解答欄はウラにもあります。

絶対に汚さないこと。

答案番号

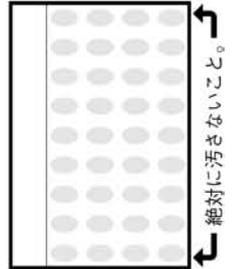
※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合

組：03 出席番号：07

生徒記入欄		性別	
組	出席番号	男	女
00	00	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
01	01	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
02	02	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
03	03	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
04	04	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
05	05	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
06	06	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
07	07	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
08	08	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
09	09	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※組・出席番号が1ケタの場合、左の○を塗りつぶしてください。



1 この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が

2 ① ② ③ ④

二 ① ② ③ ④

3 A ↓ → →

二 ① ② ③ ④

三 カムパネルラが先生の質問に答えなかったのは、

僕のことを

.....

いるからだ。

4

1 集合場所 ロビー

2

3 保健係集合

二 ① ② ③ ④

5 ① ② ③ ④ ⑤

※二つ選んで解答すること。

二 ① ② ③ ④

国語 A ウラ

解答欄はオモテにもあります。

6 一 ① ② ③ ④

二 ① ② ③ ④

7 一 ① ② ③ ④

二 ① ② ③ ④

三 ① ② ③ ④

8 一 1

2

3 う

二 1

2

3 る

三 ア ① ② ③ ④

イ ① ② ③ ④

ウ ① ② ③ ④

エ ① ② ③ ④

オ ① ② ③ ④

カ ① ② ③ ④

四 私は祖母 A

庭の草取りを

B

五 1 むかひて

2

六 ① ② ③ ④

七

八 ① ② ③ ④

※この答案番号は、あなたが受けるすべての調査に共通した番号なので、ほかの答案番号の解答(回答)用紙は、使わないでください。

国語 B オモテ

学校名

解答欄はウラにもあります。

1

一 ア

一 イ

二 ① ② ③ ④

三 ア

郷土資料コーナー

私たちの郷土の歴史、文化、
産業に関する本やパンフレット
などを集めています。

イ

本を借りたり返したりしたとき
受付カウンター

2

一 ① ② ③ ④

二

三

を防げるとはどういうことか。

答案番号

絶対に汚さないこと。

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：3組 7番の場合
組：0:3 出席番号：0:7

生徒記入欄		性別	
組	出席番号	男	女
0:0	0:0	男	女
0:1	0:1	男	女
0:2	0:2	男	女
0:3	0:3	男	女
0:4	0:4	男	女
0:5	0:5	男	女
0:6	0:6	男	女
0:7	0:7	男	女
0:8	0:8	男	女
0:9	0:9	男	女

※組・出席番号が1ケタの場合、左の0を塗りつぶしてください。

絶対に汚さないこと。

正 答（例）

正答(例)【中学校国語】
A 主として「知識」に関する問題

8			7			6		5		4		3			2		1
-			三	二	-	二	-	二	-	二	-	三	二	-	二	-	-
3	2	1	3	4	2	4	2	3	ウ・オ	1	例 集合時刻 午前八時三十分 (カムパネルラが先生の質問に答えなかったのは、僕のことを) 気の毒がつて(いるからだ。)	3	(A↓) C↓D↓B	2	3	例 (この絵の特徴は、どの角度から見ても女性と目が合うことです。)	
補(う)	磁石	遺産															

8														
八	七	六	五		四	三			二					
			2	1		カ	オ	エ	ウ	イ	ア	3	2	1
2	例 起きてしまったことをうまくおさめるために、手段を考えて実行すること。	3	とりとめのないこと	むかいて	例 (私は祖母)に ^A (庭の草取りを)頼まれた。 ^B (。)	4	2	1	2	2	3	せま(る)	ばんそう	ていこう

正答(例)【中学校国語】
B 主として「活用」に関する問題

2			1		
三	二	一	三	二	一
<p>【例】 疑似点灯現象（を防げるとはどういうことか。）</p>	<p>【箇条書き例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費電力が少ない。 ・ 小さい。 ・ 寿命が長い。 ・ カラー発光する。 	<p>3</p>	イ	<p>4</p>	<p>【例1】 ア ① イ この本がどこにあるのかを検索することができる。</p> <p>【例2】 ア ④ イ 国内外で出版された本が置いてあり、本の貸し出しもできるから。</p>
			ア		

3			
三	二	一	
		B	A
<p>【例2】 ウ 「土のよう」でもあり「空のよう」でもありませんが、「樹は樹で生きている」と詩では表現されています。この詩には、木がまさに土と空の間で生きている感じの、ウの写真が合うと思います。（だから、私はこの写真と組み合わせます。） (八十八字)</p>	<p>1</p>	<p>樹は空のように明るい</p>	<p>【例1】 ア 私はこの詩の「空がしみたのであろうか」や「枝先は空に溶けてる」といった表現が印象に残りました。アの写真は木の枝先と空が写っていて、この詩に合うと思います。 (だから、私はこの写真と組み合わせます。） (七十八字)</p>

点字問題(抜粹)

【中学校国語】 A 主として「知識」に関する問題

8 次の一から八までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の「・・・」について、語句の意味を答えなさい。

1 世界「イサン」を見学する。

2 磁石を使って「ホウイ」を調べる。

3 「ネンリョウ」を補う。

二 次の1から3までの文中の「・・・」で示した部分と同じ意味の漢字を用いるものを、それぞれ後のアからエまでのの中から一つずつ選んで、その記号を答えなさい。

1 空気の抵「抗」がある。

2 ピアノで伴「奏」をする。

3 「真」実に迫る。

ア しょうがつ「こう」

ア 「そう」ごうてき

ア 「しん」ちょうは

イ 「こう」きんざい

イ 「そう」べつかい

イ こう「しん」きよく

ウ 「こう」どけい

ウ えん「そう」かい

ウ おおじ「しん」

エ 「こう」はんい

エ どう「そう」かい

エ しゃ「しん」てん

三 次のアからオまでの文では、最も適切な言葉を、カの文では、「・・・」で示した部分と同じ意味の漢字を用いるものを、それぞれの（ ）の1から4までの中から一つ選びなさい。

エ 報道機関の調査結果に、(1) 一喜一憂 (2) 切磋琢磨 (3) 四面楚歌 (4) 天衣無縫) する。

カ 入学式のときの来賓のシユク「ジ」(1) 掲「示」板 (2) 新聞記「事」 (3) 仮名文「字」 (4) 英語「辞」典) は、特に印象に残っている。

六 山本さんは、次の文章を読んで、点字表記の上で誤りがあることに気づきました。山本さんが誤りとしたものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ナイテモ□ダレモ□フリムイテワ□クレナイヨ。
- 2 アスカラ□ガンバツテ□イコー。
- 3 ヒトリ□アタリ、2ホンズツ□トツテ□クダサイ。
- 4 アア□イエバ、コー□イウ。

【中学校国語】 B 主として「活用」に関する問題

1 図書委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの「子ども図書館」に出かけました。次の「子ども図書館案内」を見ながら、あとの問いに答えなさい。

二 山田さんは「子ども図書館案内」を見て、「工夫されていて分かりやすいな」と思いました。この案内の工夫として当てはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 各部屋ごとに説明が書いてある。
- 2 利用者の立場で「くとき」と使う場面が書いてある。
- 3 説明が敬体（です・ます体）で簡潔に書いてある。
- 4 各場所へ行く順序が①、②、③のように示してある。

3 次は、「樹」という詩と、平野さんがこの詩を読んで気付いたことをまとめたノートです。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

三 平野さんに、あなたがこの詩から得たイメージを伝えるとしたら、どのように伝えますか。次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、「メメ」で消すか、訂正と書いてから書き改めてもかまいません。

条件1 つかんだイメージと詩とを関連付けて、平野さんに分かるように説明すること。

条件2 詩の中の言葉を使って書くこと。

条件3 六十字以上、九十字以内（点字百マス以上、百六十五マス以内）で書くこと。

参考 詩を二行以上引用したいときには、「樹は土に立っている／樹はそこから歩かない」のように「詩行符」でつ

ないだり、「樹は土に立っている 樹はそこから歩かない」のように二マスあけてつないだりする方法があります。

ここから先のページは、
裏表紙の方からお読みください。

ここから先のページは,
表紙の方からお読みください。

【参考文献】

- 文部科学省「中学校学習指導要領（平成10年12月告示，平成15年12月一部改正）」平成16年1月20日（改訂版）
- 文部科学省「中学校学習指導要領（平成20年3月告示）」
- 文部科学省「中学校学習指導要領（平成10年12月）解説 ー国語編ー（平成11年9月，平成16年5月一部補訂）」平成16年8月25日（一部補訂）
- 文部科学省「中学校学習指導要領解説 国語編」平成20年9月
- 全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」平成18年4月25日
- 文部科学省「読解力向上に関する指導資料 ～PISA調査（読解力）の結果分析と改善の方向～」平成17年12月
- 文部科学省「読解力向上プログラム」平成17年12月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（中学校）ー評価規準，評価方法等の研究開発（報告）ー」平成14年2月
- 文部科学省 国立教育政策研究所「平成19年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」平成20年1月
- 文部科学省 国立教育政策研究所「平成20年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」平成20年11月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成19年度 全国学力・学習状況調査解説資料 中学校 国語」平成19年5月
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成20年度 全国学力・学習状況調査解説資料 中学校 国語」平成20年4月

(62) 解答を文章で書く問題がありましたか、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。

- ① すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- ② 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- ③ 書く問題は全く解答しなかった

あなたは、今回の国語の問題について、どのように思いましたか。次の(61)、(62)のそれぞれについて、当てはまるものを1つずつ選んでください。

2

堀川さんは、「発光ダイオード」について調べていることにしました。次の文章〔A〕は、堀川さんが読んだ本の一部です。〔1〕から〔6〕は、段落の番号を表します。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔A〕

〔1〕最近、新しい信号機が増えてきたことに気付いているだろうか。これまでの信号機と違い、新しい信号機には小さな粒のようなものがたくさん付いている（写真参照）。この小さな粒は、発光ダイオードというもので、省エネルギーという点などから、近年様々な分野で使われるようになってきた。発光ダイオードは「ろうそくやランプなどの炎」、「白熱電球」、「蛍光灯」に続く、次世代の明かりとして注目されている。この発光ダイオードの特徴について詳しく見てみよう。

〔2〕まずは、消費電力が少ないということが挙げられる。発光ダイオードと白熱電球を比較して考えてみよう。白熱電球は、フィラメントに電流を流して光を発生させている。一方、発光ダイオードは、半導体に電流を流して光を発生させる。その際、どちらも熱が発生するのだが、白熱電球に比べて発光ダイオードの方が、発生する熱が少なくて済み、白熱電球よりも効率的に、電気エネルギーを光に変えることができるのだ。

〔3〕次に、小さいということが挙げられる。信号機の写真からも分かるように、発光ダイオードの一つ一つの大きさは、従来の白熱電球に比べてはるかに小さい。この小さいという特徴を生かして、携帯電話の着信ランプや携帯型ゲーム機の光源（バックライト）などに発光ダイオードが多く使われている。

〔4〕これまでの電球式信号機では、およそ一年に一回電球を交換する必要があった。しかし、発光ダイオード式信号機の場合は、六年から八年に一回で済むと言われている。このように発光ダイオードには、寿命が長いという特徴もある。

〔5〕最後に発光ダイオードには、カラー発光する（特定の色の光を出す）という特徴がある。朝や夕方などに太陽の光が当たって、信号機が三色とも光って見えるという経験をしたことはないだろうか。これを疑似点灯現象（点灯していないのに点灯しているように見える現象）といい、これまでの電球式信号機に多く見られる現象であった。白熱電球は白色光のため、赤や黄色などの色のついたレンズをかぶせている。さらに反射鏡を利用して、白熱電球の光を一方方向に集め、信号機として使用している。この信号機に太陽の光が当たり反射すると、疑似点灯現象が起こる。一方、発光ダイオードは、カラー発光するので、色のついたレンズを使う必要はない。だから、点灯していない色までもついているように見えることは避けられる。このことにより、発光ダイオード式信号機は、交通安全に役立つという効果が期待されている。

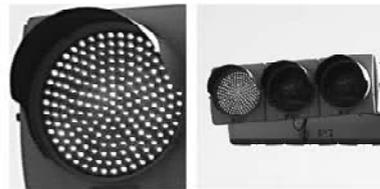
〔6〕電車やバスの行き先表示板をはじめ、町の中や競技場のディスプレイなどにも広く使われるようになってきた発光ダイオード。克服しなければならない課題もあるが、今後ますます私たちの身近な存在になっていくだろう。

【発光ダイオード】



*上の発光ダイオードの全長は約35mm、発光部は約9mm。

【発光ダイオード式信号機】



〔注〕フィラメント：電球・真空管などの内部にあって電流を流し、光や熱電子を放出させる金属の細い線。

中国B-6

中国B-5

(61) この問題にあるような、長い文章を読むのは難しい

- ① 難しいと思う
- ② どちらかといえば、難しいと思う
- ③ どちらかといえば、難しいと思わない
- ④ 難しいと思わない

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまらない	当てはまらない
-------	--------------------	----------------------	---------

(57) 国語の授業で目的に応じて資料
を読み、自分の考えを話したり、書
いたりしている…………… ① — ② — ③ — ④

(58) 国語の授業で意見などを発表す
るとき、うまく伝えるように話の組
み立てを工夫している…………… ① — ② — ③ — ④

(59) 国語の授業で自分の考えを書
くとき、考えの理由が分かるように気
をつけて書いている…………… ① — ② — ③ — ④

(60) 国語の授業で文章を読むとき、
段落や話のまとめりに内容を
理解しながら読んでいる…………… ① — ② — ③ — ④

12 あなたは、^{こくご}国語についてどのように^{おも}思っていますか。^あ当てはまるものを右の①から④の^{なか}中から1つずつ^{えら}選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(52) ^{こくご}国語の^{べんきょう}勉強は^す好きだ…………… ① — ② — ③ — ④

(53) ^{こくご}国語の^{べんきょう}勉強は^{たいせつ}大切だ…………… ① — ② — ③ — ④

(54) ^{こくご}国語の^{じゅぎょう}授業の^{ないよう}内容はよく^わ分かる・ ① — ② — ③ — ④

(55) ^{どくしょ}読書は^す好きだ…………… ① — ② — ③ — ④

(56) ^{こくご}国語の^{じゅぎょう}授業で^{がくしゅう}学習したことは、
^{しょうらい}将来、^{しゃかい}社会に出たときに^{やく}役に^た立つ・ ① — ② — ③ — ④

3 質問紙調査項目 (教科関連部分)

解答類型 [点字問題] 【中学校国語】
B 主として「活用」に関する問題

◎…解答として求める条件をすべて満たしている正答

問題番号	解答類型	類型番号	
1	二	・ 1 と解答しているもの	1
		・ 2 と解答しているもの	2
		・ 3 と解答しているもの	3
		・ 4 と解答しているもの	4 ◎
		・ 上記以外の解答	9
		・ 無解答	0
		3	三
(正答例) ・ 樹が静かに、そして力強く生きている感じがします。それは、「樹はそこから歩かない」や「樹は空へ向いている」という部分から感じます。(64字) ・ 詩の中にある「根は土になってる」や「枝先は空に溶けてる」という部分から、樹が土にも空にも溶け込んで、一体化している感じがします。(64字)			
・ 条件①, ②, ③を満たして書いているもの	1 ◎		
・ 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	2		
・ 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	3		
・ 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	4		
・ 上記以外の解答	9		
・ 無解答	0		

解答類型 [点字問題] 【中学校国語】
 A 主として「知識」に関する問題

◎…解答として求める条件をすべて満たしている正答

問題番号	解答類型	類型番号	
8	一 1	・「前代の人が残したもの」という意味が含まれているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 2	・「基準の方向に対するある方向の関係を表したもの」という意味が含まれているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 3	・「エネルギーを発生させるもの」という意味が含まれているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 1	・イと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 2	・ウと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 3	・エと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	三 エ	・1と解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	三 カ	・4と解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
六	・3と解答しているもの	1◎	
	・上記以外の解答	9	
	・無解答	0	

解答類型

点字問題部分

問題番号	解答類型	類型番号		
③	二	・ 1 と解答しているもの	1◎	
		・ 2 と解答しているもの	2	
		・ 3 と解答しているもの	3	
		・ 4 と解答しているもの	4	
		・ 上記以外の解答	9	
		・ 無解答	0	
	三	<p>問題に示された条件にしたがって、詩と組み合わせる写真を選び、その写真と組み合わせる理由を書いている。</p> <p>(条件)</p> <p>①アからオまでの中のいずれか一枚の写真を選んでその記号を書いている。</p> <p>②「だから、私はこの写真と組み合わせます。」に続くように、整った文章で書いている。</p> <p>③組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書いている。</p> <p>④詩の中の言葉を使って書いている。</p> <p>⑤60字以上、90字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例) () の中の数字は、字数を表す。</p> <p>・ア 私はこの詩の「空がしみたのであろうか」や「枝先は空に溶けてる」といった表現が印象に残りました。アの写真は木の枝先と空が写っていて、この詩に合うと思います。 (だから、私はこの写真と組み合わせます。) (78字)</p> <p>・ウ 「土のよう」でもあり「空のよう」でもありながら、「樹は樹で生きている」と詩では表現されています。この詩には、木がまさに土と空の間で生きている感じの、ウの写真が合うと思います。 (だから、私はこの写真と組み合わせます。) (88字)</p>		
		・ 条件①, ②, ③, ④, ⑤を満たして解答しているもの	1◎	
		・ 条件①, ②, ③, ④を満たし, 条件⑤を満たさないで解答しているもの	2	
		・ 条件①, ②, ③, ⑤を満たし, 条件④を満たさないで解答しているもの	3	
		・ 条件①, ②, ④, ⑤を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	4	
		・ 条件①, ③, ④, ⑤を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	5	
		・ 条件②, ③, ④, ⑤を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	6	
		・ 上記以外の解答	9	
・ 無解答	0			

問題番号	解答類型	類型番号	
2	二	問題に示された条件にしたがって、発光ダイオードの特徴を書いている。 (条件) ①文章【A】に書かれている発光ダイオードが次世代の明かりとして注目されていることが分かる特徴を適切に書いている。 ②箇条書きで3つ以上書いている。	
		(箇条書き例) ・消費電力が少ない。 ・小さい。 ・寿命が長い。 ・カラー発光する。	
		・条件①, ②を満たして解答しているもの	1◎
		・条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	2
		・条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	3
	・上記以外の解答	9	
	・無解答	0	
	三	・文章【A】から「疑似点灯現象」またはそれと同意の部分を, 「～を防げるとはどういうことか。」に続くように抜き出して解答しているもの	1◎
		・文章【A】から「疑似点灯現象」またはそれと同意の部分を抜き出しているが, 不十分に解答しているもの	2
		・上記以外の解答	9
・無解答		0	
3	一 A	・「樹は土のように静かだ」と解答しているもの	1◎
		・「土のように静かだ」のように, 当該箇所を不十分に抜き出して解答しているもの	2
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	B	・「樹は空のように明るい」と解答しているもの	1◎
		・「空のように明るい」のように, 当該箇所を不十分に抜き出して解答しているもの	2
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

問題番号	解答類型	類型番号	
1	三 イ	問題に示された条件にしたがって、受付カウンターの役割を説明している。 (条件) ①《受付カウンターの役割》を踏まえて書いている。 ②「貸し出し」、「返却」、「検索」という言葉をすべて使って書いている。 ③説明として筋道が通るように書いている。	
		~~~~~ (正答例) ・本の貸し出しと返却の手続きをしています。パソコンで読みたい本の検索もできます。	
		・条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	1◎
		・条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	2
		・条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	3
		・条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	4
		・上記以外の解答	9
	・無解答	0	
2	一	・1と解答しているもの	1
		・2と解答しているもの	2
		・3と解答しているもの	3◎
		・4と解答しているもの	4
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

解答類型【中学校国語】

B 主として「活用」に関する問題

◎ … 解答として求める条件をすべて満たしている正答

問題番号	解答類型	類型番号	
1	一	・アに①もしくは④を選び、イに①もしくは④に行く理由として適切な内容を解答しているもの ~~~~~ (正答例) ・ア：① イ：この本がどこにあるのかを検索することができるから。 ・ア：④ イ：国内外で出版された本が置いてあり、本の貸し出しもできるから。	1◎
		・アに①もしくは④を選んでいるが、イに①もしくは④に行く理由として適切でない内容を解答しているもの	2
		・アに①もしくは④を選んでいるが、イが無解答のもの	3
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
		二	・1と解答しているもの
	・2と解答しているもの		2
	・3と解答しているもの		3
	・4と解答しているもの		4◎
	・上記以外の解答		9
	・無解答		0
	三 ア	問題に示された条件にしたがって、郷土資料コーナーの見出しを書いている。 (条件) ①見出しとして簡潔に書いている。 ②学校図書館利用者の立場で書いている。 ③郷土資料コーナーの説明を踏まえて適切な内容を書いている。 ~~~~~ (正答例) ・郷土について知りたいとき	
		・条件①，②，③を満たして解答しているもの	1◎
		・条件①，②を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの	2
		・条件①，③を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの	3
		・条件②，③を満たし，条件①を満たさないで解答しているもの	4
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

## 解答類型

### B 主として「活用」に関する問題



問題番号	解答類型	類型番号		
8	六	・ 1 と解答しているもの	1	
		-----		
		・ 2 と解答しているもの	2	
		-----		
		・ 3 と解答しているもの	3◎	
		-----		
	・ 4 と解答しているもの	4		
	-----			
	・ 上記以外の解答	9		
	-----			
	・ 無解答	0		
	七	「善後策を講じる」の意味を書いている。 (条件) ①【国語辞典】の、「善後策」を説明している言葉と「講じる」の②を説明している言葉を使って書いている。 ②「善後策を講じる」の意味を適切に書いている。		
		~~~~~ (正答例) ・ 起きてしまったことをうまくおさめるために、手段を考えて実行すること。		
		・ 条件①, ②を満たして解答しているもの	1◎	

		・ 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	2	

		・ 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	3	

		・ 上記以外の解答	9	

・ 無解答	0			
八	・ 1 と解答しているもの	1		

	・ 2 と解答しているもの	2◎		

	・ 3 と解答しているもの	3		

	・ 4 と解答しているもの	4		

・ 上記以外の解答	9			

・ 無解答	0			

問題番号	解答類型	類型番号	
8	オ	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2◎

		・ 3 と解答しているもの	3

		・ 4 と解答しているもの	4

	・ 上記以外の解答	9	

	・ 無解答	0	
	カ	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2

		・ 3 と解答しているもの	3

		・ 4 と解答しているもの	4◎

	・ 上記以外の解答	9	

・ 無解答	0		
四	・ 「(私は祖母) ^A に(庭の草取りを) ^B 頼まれた(。)」のように解答しているもの	1◎	

	・ 「(私は祖母) ^A に(庭の草取りを) ^B 頼まれてしてあげた(。)」のように解答しているもの	2◎	

	・ 上記以外の解答	9	

・ 無解答	0		
五 1	・ 「むかいて」と解答しているもの	1◎	

	・ 「むかひて」の意味を解答しているもの	2	

	・ 上記以外の解答	9	

・ 無解答	0		
2	・ 「とりとめのないこと」と解答しているもの	1◎	

	・ 上記以外の解答	9	

・ 無解答	0		

問題番号	解答類型	類型番号	
8	三 ア	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2

		・ 3 と解答しているもの	3◎

		・ 4 と解答しているもの	4

	・ 上記以外の解答	9	

	・ 無解答	0	
	イ	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2◎

		・ 3 と解答しているもの	3

		・ 4 と解答しているもの	4

	・ 上記以外の解答	9	

	・ 無解答	0	
	ウ	・ 1 と解答しているもの	1

・ 2 と解答しているもの		2◎	

・ 3 と解答しているもの		3	

・ 4 と解答しているもの		4	

・ 上記以外の解答	9		

・ 無解答	0		
エ	・ 1 と解答しているもの	1◎	

	・ 2 と解答しているもの	2	

	・ 3 と解答しているもの	3	

	・ 4 と解答しているもの	4	

・ 上記以外の解答	9		

・ 無解答	0		

問題番号	解答類型	類型番号		
8	一 1	・「遺産」と解答しているもの	1◎	
		・「遺産」のうち「遺」だけ正しく解答しているもの	2	
		・「遺産」のうち「産」だけ正しく解答しているもの	3	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
	2	・「磁石」と解答しているもの	1◎	
		・「磁石」のうち「磁」だけ正しく解答しているもの	2	
		・「磁石」のうち「石」だけ正しく解答しているもの	3	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
	3	・「補（う）」と解答しているもの	1◎	
		・「補」のころもへん（ネ）をしめすへん（ネ）にして解答しているもの	2	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
	二	1	・「ていこう」と解答しているもの	1◎
			・「ていこう」のうち「てい」だけ正しく解答しているもの	2
			・「ていこう」のうち「こう」だけ正しく解答しているもの	3
			・上記以外の解答	9
・無解答			0	
2		・「ばんそう」と解答しているもの	1◎	
		・「ばんそう」のうち「ばん」だけ正しく解答しているもの	2	
		・「ばんそう」のうち「そう」だけ正しく解答しているもの	3	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
3		・「せま（る）」と解答しているもの	1◎	
		・上記以外の解答	9	
	・無解答	0		

問題番号	解答類型	類型番号	
7	一	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2◎

		・ 3 と解答しているもの	3

		・ 4 と解答しているもの	4
	二	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2

		・ 3 と解答しているもの	3

		・ 4 と解答しているもの	4◎
	三	・ 1 と解答しているもの	1

		・ 2 と解答しているもの	2

		・ 3 と解答しているもの	3◎

		・ 4 と解答しているもの	4
	・ 上記以外の解答	9	

	・ 無解答	0	

	・ 上記以外の解答	9	

	・ 無解答	0	

問題番号	解 答 類 型		類型番号	
5	一	・ウとオと解答しているもの	1◎	
		・ウだけ正しく解答しているもの	2	
		・オだけ正しく解答しているもの	3	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
		二	・1と解答しているもの	1
	・2と解答しているもの	2		
	・3と解答しているもの	3◎		
	・4と解答しているもの	4		
	・上記以外の解答	9		
	・無解答	0		
	6	一	・1と解答しているもの	1
			・2と解答しているもの	2◎
			・3と解答しているもの	3
・4と解答しているもの			4	
・上記以外の解答			9	
・無解答			0	
二			・1と解答しているもの	1
・2と解答しているもの		2		
・3と解答しているもの		3		
・4と解答しているもの		4◎		
・上記以外の解答		9		
・無解答		0		

問題番号	解答類型	類型番号		
3	二	・ 1 と解答しているもの	1	

		・ 2 と解答しているもの	2	

		・ 3 と解答しているもの	3◎	

	・ 4 と解答しているもの	4		

	・ 上記以外の解答	9		

・ 無解答	0			
三	三	・ 「気の毒がって」と解答しているもの	1◎	

		・ 上記以外の解答	9	

・ 無解答	0			
4	一	・ 「集合時刻 午前8時30分」のように解答しているもの	1◎	

		・ 上記以外の解答	9	

	・ 無解答	0		
	二	二	・ 1 と解答しているもの	1◎

			・ 2 と解答しているもの	2

			・ 3 と解答しているもの	3

・ 4 と解答しているもの			4	

・ 上記以外の解答	9			

・ 無解答	0			

解答類型【中学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

◎ … 解答として求める条件をすべて満たしている正答

問題番号	解答類型	類型番号		
1	一	・「合うことです」のように解答しているもの	1◎	
		・「合ってしまうことです」のように解答しているもの	2◎	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
2	一	・1と解答しているもの	1	
		・2と解答しているもの	2	
		・3と解答しているもの	3◎	
		・4と解答しているもの	4	
		・上記以外の解答	9	
		・無解答	0	
		二	・1と解答しているもの	1
	・2と解答しているもの		2◎	
	・3と解答しているもの		3	
	・4と解答しているもの		4	
	・上記以外の解答		9	
	・無解答		0	
	3		一	・「(A→B→C→D)」と解答しているもの
		・「(A→B→D→C)」と解答しているもの		2
・「(A→C→B→D)」と解答しているもの		3		
・「(A→C→D→B)」と解答しているもの		4◎		
・「(A→D→B→C)」と解答しているもの		5		
・「(A→D→C→B)」と解答しているもの		6		
・上記以外の解答		9		
・無解答		0		

2 解答類型

A 主として「知識」に関する問題

調査問題一覧表 【中学校国語】
B 主として「活用」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		
			聞話	書	読	言語	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	選択式	短答式
1	一 アイ	子ども図書館案内図を見て、特定の本を借りるために行くべき場所を選択し、その場所に行く理由を書く		○	○			○	○				○
	二	子ども図書館案内図にみられる工夫として当てはまらないものを選択する			○				○		○		
	三 ア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く		○	○	○		○	○				○
	三 イ	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の受付カウンターの役割の説明文を書く		○	○	○		○	○				○
2	一	本文の第一段落の役割について述べたものとして適切なものを選択する			○				○		○		
	二	本文の内容を適切にとらえ、発光ダイオードの特徴を簡潔書きで三つ以上書く		○	○	○		○	○				○
	三	資料の図が、文章のどの部分を補足しているかについて、文章中から抜き出す			○				○			○	
3	一 A	表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す			○				○			○	
	一 B				○			○			○		
	二	ひとまとまりのものとしてとらえた複数の連の内容について適切なものを選択する			○				○		○		
	三	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く		○	○	○		○	○				○

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
			聞話	書	読	言語	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
			くす ここ とと	く こ と	む こ と	語 事 項								
8	一 1	漢字を書く（世界イサンを見学する）				○					○		○	
	一 2	漢字を書く（ジシャクを使って方位を調べる）	文脈に即して漢字を正しく書く				○				○		○	
	一 3	漢字を書く（燃料をオギナウ）				○					○		○	
	二 1	漢字を読む（空気の抵抗がある）				○					○		○	
	二 2	漢字を読む（ピアノで伴奏をする）	文脈に即して漢字を正しく読む				○				○		○	
	二 3	漢字を読む（真実に迫る）				○					○		○	
	三 ア	適切な語句を選択する（急いているときは、靴をはくのももどかしい）				○					○	○		
	三 イ	適切な語句を選択する（鬼をおいはらうなら <u>わし</u> は、今でも <u>続</u> いている）				○					○	○		
	三 ウ	適切な敬語を選択する（お客様、どうぞこの洋服をおめしになってください）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				○				○	○		
	三 エ	適切な同音異義語を選択する（調査結果について、報道機関に対して説明する）				○					○	○		
	三 オ	適切な接続詞を選択する（たとえ <u>そう</u> であっても）				○					○	○		
	三 カ	適切な同音異義語を選択する（来賓の祝辞は、特に印象に残っている）				○					○	○		
	四	意味は変えずに、主語を変えて書き換える	動作の受け手を主語にした受け身の文に書き換える				○				○		○	
	五 1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（むかひて）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				○				○		○	
	五 2	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（よしなしごと）	古文と現代語訳とを対応させて内容をとらえる				○				○		○	
	六	先生の助言を生かして書き直したものを選択する	行書の基本的な書き方を理解し、配列・配置に気を付けて書く				○				○	○		
七	国語辞典で調べたことをもとに、語句の意味を書く	辞書を活用して、語句の意味を適切に書く				○				○		○		
八	国語辞典の説明から分かることを選択する	辞書に書かれている情報を適切に読み取る				○				○	○			

調査問題一覧表 【中学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
			聞話	書	読	言語	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
1	一 主語に合わせて述語の部分を正しく書き直す	主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書く		○		○		○		○		○		
2	一 スピーチの工夫の効果として適切なものを選択する	効果的なスピーチをするために話し方の工夫をする	○				○					○		
	二 スピーチの特徴の説明として適切なものを選択する	効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する	○				○					○		
3	一 物語の展開の順番どおりに出来事を並び替える	本文の展開に即して内容をとらえる			○				○				○	
	二 僕とカムパネルラが知っていることの説明として適切なものを選択する	本文の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取る			○				○			○		
	三 先生の質問に答えなかったカムパネルラが、僕のことをどう思っていると考えたかが書かれている部分を本文中から抜き出す				○				○			○		
4	一 先生の話から必要な情報を聞き取り、メモをとる	話の内容から必要な情報を的確に聞き取る	○				○						○	
	二 足りない情報を得るための質問として適切なものを選択する	聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問する	○				○					○		
5	一 提案するときに根拠にする意見として適切なものを選択する	自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶ		○				○				○		
	二 提案するときにある意見を取り上げて書く理由として適切なものを選択する	自分とは異なる立場の意見を取り入れて、説得力のある文章を書く		○				○				○		
6	一 目次の特徴とそれを使ってできることの説明として適切なものを選択する	目次の特徴や役割を理解する			○				○			○		
	二 調べたい事柄が書かれている章を選択する	目次を読んで、必要な情報がどこにあるか見当を付ける			○				○			○		
7	一 短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れめを付けたものとして適切なものを選択する	短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ			○				○			○		
	二 短歌について書かれた文章の空欄に当てはまるものとして適切なものを選択する	語句の意味を理解する			○				○			○		
	三 短歌の内容について適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、内容について理解する			○				○			○		

1 調査問題一覧表

(SOY INK)

本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。